



## 《参考資料2》

# 少子化対策の検討に関する基礎資料

## アンケート調査・分析

令和6年2月13日(火)

臨時庁議

# 目次

<b>1. 市民アンケート .....</b>	<b>P1～P32</b>
回答者基礎情報 婚姻や子どもの人数について.....	P23～P32
<b>2. 高校生アンケート .....</b>	<b>P33～P59</b>
詳細集計① 結婚や子育てについて .....	P36～P45
詳細集計② 進学や職業について .....	P46～P56
詳細集計③ 龍ヶ崎のまちについて(参考) .....	P57～P59
<b>3. さんさん館利用者アンケート.....</b>	<b>P60～P73</b>
詳細集計① 結婚や子育てについて .....	P62～P73

# 市民アンケート

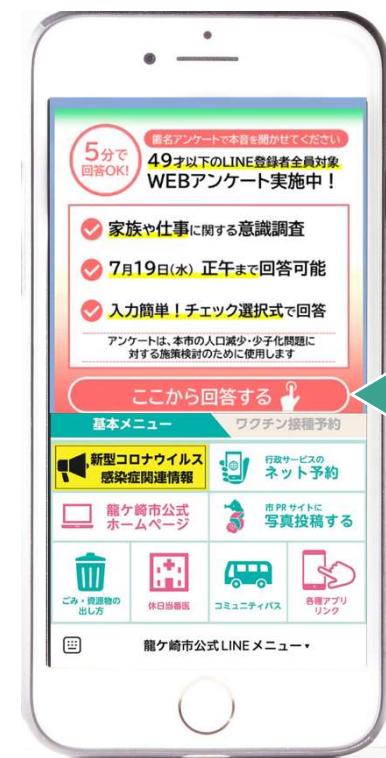
---

若者・子育て世代の家族や  
仕事に関する意識調査分析結果

# アンケートの実施状況(概要)

- ・ 実施期間:令和5年7月15日(土)19時～7月19日(水)正午
- ・ 実施方法:GoogleフォームによるWebアンケート
- ・ 対象者 :市公式LINEを登録している大学生以上～49歳以下の男女

項目	件数
LINE配信全件	14,800件
LINE開封数	7,658件
LINE開封率	51.7%
有効回答件数	1,080件
有効回答率① (有効回答数／LINE配信全件)	7.3%
有効回答率② (有効回答数／LINE開封数)	14.1%

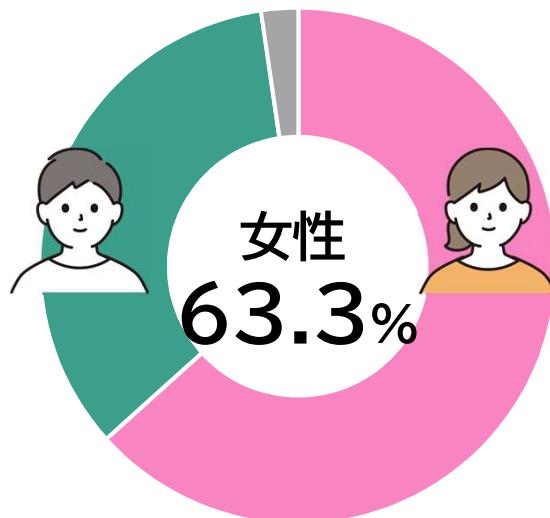


▲配信画面イメージ

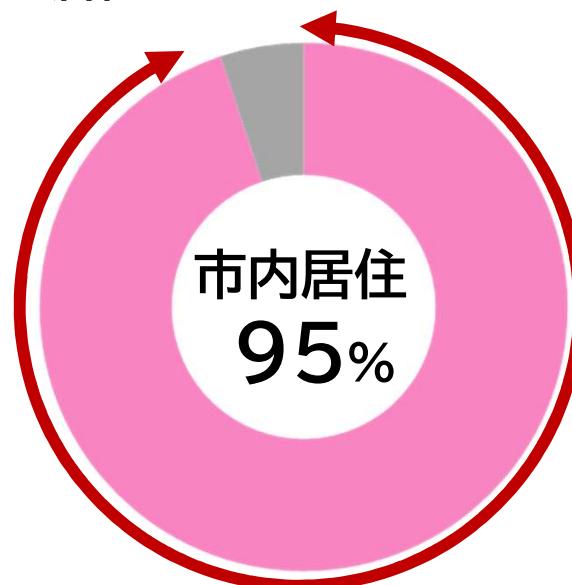
回答画面にすぐ遷移しやすい  
ようタップさせる導線を工夫

# アンケートの回答者状況(概要)

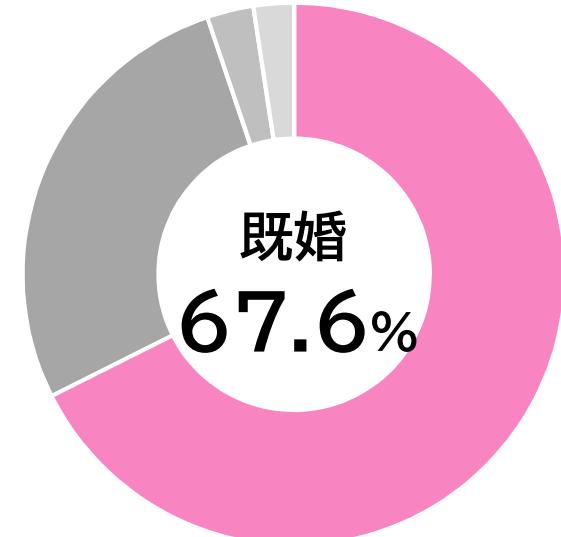
■男女比



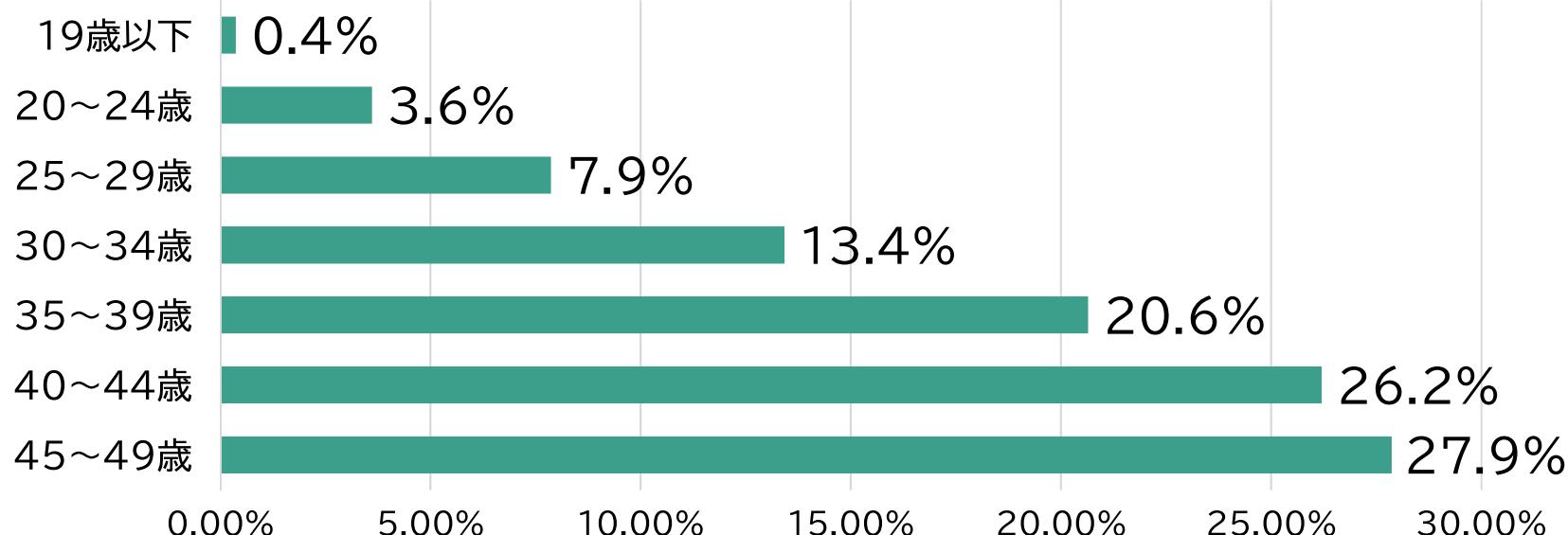
■居住地



■既婚・未婚



■年代



# アンケートの実施状況(前提)

結婚願望



あり



なし

結婚願望を行政の力で(短期間で)  
結婚に結び付けるのは難しい

子どもが欲しい願望



あり



なし

結婚願望がない人の意思を変えるの  
は難しい

欲しいけど実現できていない

▶ 実現可能性  
高い

子どもが欲しいと思っていない人  
の意思を変えるのは難しい



3人以上産み・育てている人  
約14%(149人)



子どもが2人以下 607人

理想の子の人数と  
ギャップ有  
42%(257人)

## アンケートで読み解けるもの：市民の本音

なぜ3人以上産む・育てる事ができたのか  
産もうと思えたのか

なぜ、産みたい・育てたいと思う子どもを  
産む・育てる事ができないのか？

## Q.なぜ、3人以上授かりたいと思えたのか

## 3人以上授かりたいと思えた理由 (178人)

1	周囲からのサポートが手厚い	47% (125票)
2	環境	16% (42票)
3	経済的に安定している(いた)	12% (33票)
4	子どもが好き・欲しい・自然と	11% (30票)
5	市の子育て支援事業が効果的	6% (16票)

## 3人以上授かりたいと思えた理由 (149人)

1	周囲からのサポートが手厚い	47% (99票)
2	環境	17% (37票)
3	子どもが好き・欲しい・自然と	11% (24票)
4	経済的に安定している(いた)	10% (21票)
5	市の子育て支援事業が効果的	6% (13票)

## Q.なぜ、3人以上授かりたいと思えたのか

## 3人以上授かりたいと思えた理由 (29人)

※現時点で子どもが2人以下の人

1 周囲からのサポートが手厚い

49%  
(26票)

2 経済的に安定している(いた)

23%  
(12票)

3 こどもが好き・欲しい・自然と

11%  
(6票)

4 環境

9%  
(5票)

5 市の子育て支援事業が効果的

6%  
(3票)

## 子どもを3人以上授かりたいと思えた理由



「周囲からのサポートが手厚い」  
が最も多い

Q.なぜ子どもを 授かりたいと思わなかつたか、2人以下までで良いのか

子2人以下で今後はできれば授かりたいが  
難しい (154人)

1	年齢・体力・精神的に厳しい	50% (171票)
2	経済的な不安がある	26% (89票)
3	周囲からのサポートが受けづらい	13% (46票)
4	環境	8% (29票)
5	その他	2% (6票)

子がいなく、今後は1人まで授かりたい  
(12人)

1	年齢・体力・精神的に厳しい	26% (7票)
2	経済的な不安がある	26% (7票)
3	環境	19% (5票)
4	周囲からのサポートが受けづらい	19% (5票)
5	その他	11% (3票)

## Q.なぜ子どもを 授かりたいと思わなかつたか、2人以下までで良いのか

子1人以下(いない含む)で今後は2人まで  
授かりたい (62人)

1	経済的な不安がある	39% (44票)
2	年齢・体力・精神的に厳しい	34% (38票)
3	周囲からのサポートが受けづらい	13% (15票)
4	環境	9% (10票)
5	その他	5% (6票)

理想の子の人数とギャップ有がある背景



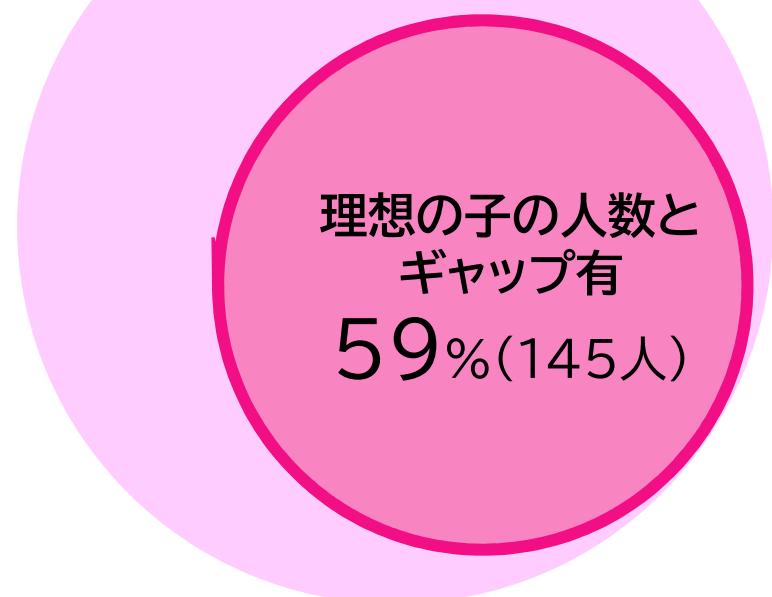
「年齢・体力・精神的に厳しい」  
が最も多い



3人以上産み・育てている人  
約11%(51人)



子どもが2人以下 244人



## アンケートで読み解けるもの：市民の本音

なぜ3人以上産む・育てる事ができたのか  
産もうと思えたのか

なぜ、産みたい・育てたいと思う子どもを  
産む・育てる事ができないのか？

## Q.なぜ、3人以上授かりたいと思えたのか

### 3人以上授かりたいと思えた理由 (74人)

1	周囲からのサポートが手厚い	45% (61票)
2	経済的に安定している(いた)	16% (22票)
3	環境	12% (16票)
4	子どもが好き・欲しい・自然と	13% (18票)
5	市の子育て支援事業が効果的	6% (8票)

### 3人以上授かりたいと思えた理由 (51人)

※現時点で3人以上子どもがいる人

1	周囲からのサポートが手厚い	45% (37票)
2	環境	18% (15票)
3	子どもが好き・欲しい・自然と	13% (11票)
4	経済的に安定している(いた)	11% (9票)
5	市の子育て支援事業が効果的	6% (5票)

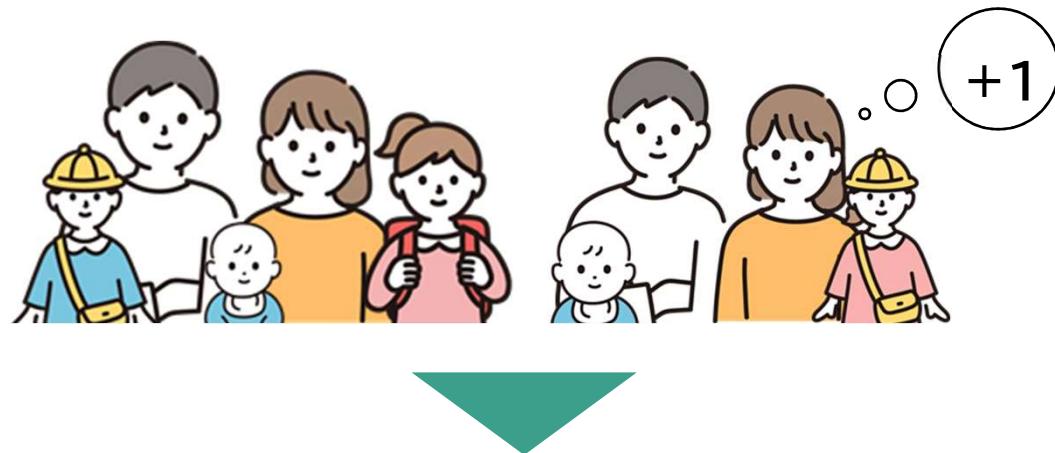
## Q.なぜ、3人以上授かりたいと思えたのか

### 3人以上授かりたいと思えた理由 (23人)

※現時点で子どもが2人以下の人

1	周囲からのサポートが手厚い	49% (23票)
2	経済的に安定している(いた)	23% (11票)
3	環境	11% (5票)
4	子どもが好き・欲しい・自然と	9% (4票)
5	市の子育て支援事業が効果的	6% (3票)

### 子どもを3人以上授かりたいと思えた理由



「周囲からのサポートが手厚い」  
が最も多い

**Q.なぜ子どもを 授かりたいと思わなかつたか、2人以下までで良いのか**

子2人以下で今後はできれば授かりたいが  
難しい (61人)

1	経済的な不安がある	36% (53票)
2	年齢・体力・精神的に厳しい	33% (49票)
3	周囲からのサポートが受けづらい	18% (24票)
4	環境	10% (14票)
5	その他	2% (3票)

子がいなく、今後は1人まで授かりたい  
(10人)

1	経済的な不安がある	29% (7票)
2	年齢・体力・精神的に厳しい	21% (5票)
3	周囲からのサポートが受けづらい	21% (5票)
4	環境	21% (5票)
5	その他	8% (2票)

## Q.なぜ子どもを 授かりたいと思わなかつたか、2人以下までで良いのか

子1人以下(いない含む)で今後は2人まで  
授かりたい (51人)

①	経済的な不安がある	40% (37票)
②	年齢・体力・精神的に厳しい	31% (29票)
③	周囲からのサポートが受けづらい	13% (12票)
④	環境	10% (9票)
⑤	その他	7% (6票)

理想の子の人数とギャップ有がある背景



「経済的に不安がある」  
が最も多い

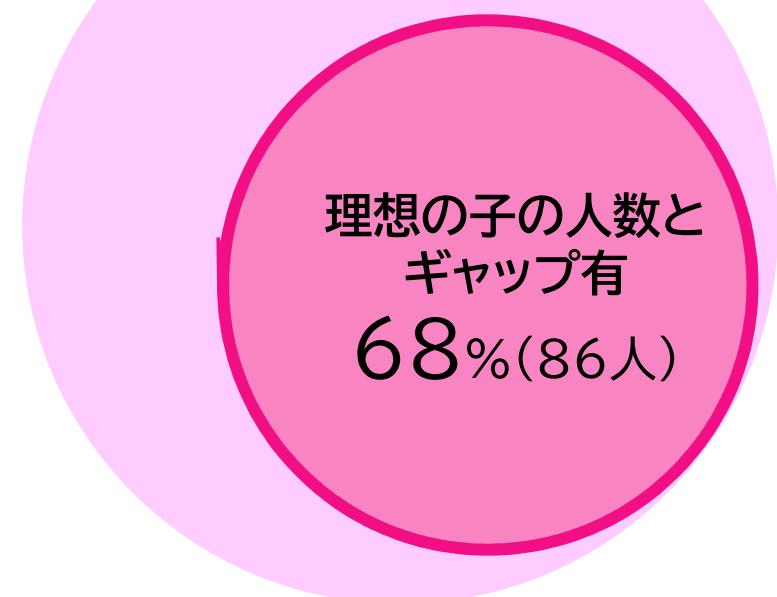
※漠然とした経済的不安



3人以上産み・育てている人  
約5%(13人)



子どもが2人以下 127人



## アンケートで読み解けるもの：市民の本音

なぜ3人以上産む・育てる事ができたのか  
産もうと思えたのか

なぜ、産みたい・育てたいと思う子どもを  
産む・育てる事ができないのか？

## Q.なぜ、3人以上授かりたいと思えたのか

## 3人以上授かりたいと思えた理由（30人）

1	周囲からのサポートが手厚い	43% (25票)
2	経済的に安定している(いた)	19% (11票)
3	子どもが好き・欲しい・自然と	12% (7票)
4	環境	10% (6票)
5	市の子育て支援事業が効果的	9% (5票)

## 3人以上授かりたいと思えた理由（13人）

1	周囲からのサポートが手厚い	42% (11票)
2	経済的に安定している(いた)	15% (4票)
3	環境	13% (11票)
4	子どもが好き・欲しい・自然と	11% (9票)
5	予定外	8% (2票)

## Q.なぜ、3人以上授かりたいと思えたのか

## 3人以上授かりたいと思えた理由 (17人)

※現時点で子どもが2人以下の人

1 周囲からのサポートが手厚い

44%  
(14票)

2 経済的に安定している(いた)

22%  
(7票)

3 環境

13%  
(4票)

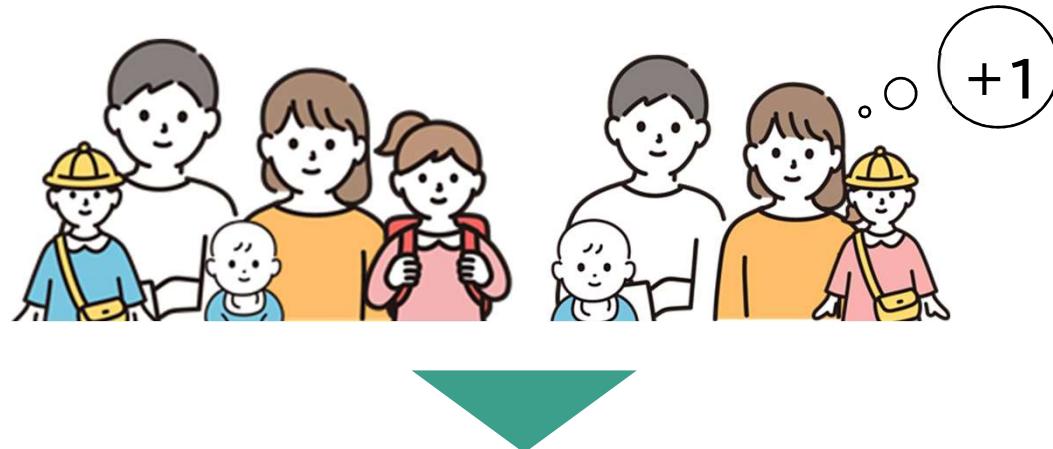
4 こどもが好き・欲しい・自然と

9%  
(3票)

5 市の子育て支援事業が効果的

9%  
(3票)

## 子どもを3人以上授かりたいと思えた理由



「周囲からのサポートが手厚い」  
が最も多い

**Q.なぜ子どもを 授かりたいと思わなかつたか、2人以下までで良いのか**

子2人以下で今後はできれば授かりたいが  
難しい (32人)

1	経済的な不安がある	37% (28票)
2	年齢・体力・精神的に厳しい	24% (18票)
3	周囲からのサポートが受けづらい	21% (16票)
4	環境	12% (9票)
5	その他	4% (3票)

子がいなく、今後は1人まで授かりたい  
(4人)

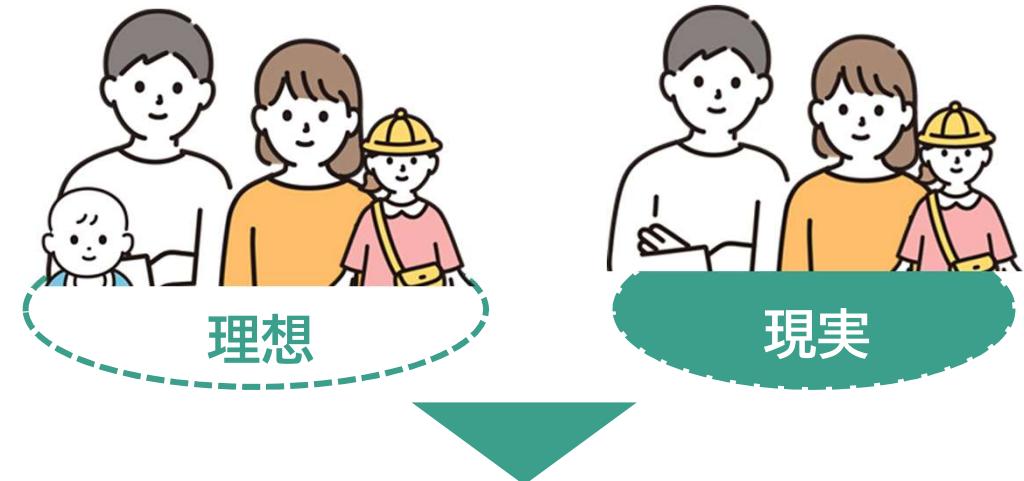
1	周囲からのサポートが受けづらい	31% (4票)
2	環境	23% (3票)
3	経済的な不安がある	23% (3票)
4	その他	15% (2票)
5	年齢・体力・精神的に厳しい	8% (1票)

Q.なぜ子どもを 授かりたいと思わなかつたか、2人以下までで良いのか

子1人以下(いない含む)で今後は2人まで  
授かりたい (33人)

1	経済的な不安がある	46% (30票)
2	年齢・体力・精神的に厳しい	23% (15票)
3	周囲からのサポートが受けづらい	15% (10票)
4	環境	11% (7票)
5	その他	5% (3票)

理想の子の人数とギャップ有がある背景



「経済的に不安がある」  
が最も多い

※漠然とした経済的不安

# 自由意見

## 子育て・教育環境

- 子育て支援の拡充(充実)  
⇒さんさん館3歳以上ver.  
⇒相談窓口等の充実 など
- 子育て施設/環境の整備
- 施設への交通の便の改善
- 教育費の補助・軽減(教育格差の解消)
- 大学の補助金や医療費の無料化

## 雇用

- 給料の増加
- 働き方の改善(企業の子育てに対する理解等)
- 福利厚生の充実
- 企業誘致
- 雇用の安定(正規雇用の増加)

## 経済面

- 住宅の補助金やリノベーション支援
- 税金の軽減
- 結婚や子供の手当の増加
- 物価高による生活費の高騰

## 市全体

- マッチングイベントの宣伝
- 地域の保安や交通網の充実
- 公共交通の利便性向上
- 公園等のトイレの整備(清潔さ向上)

# 分析結果からの推察

## 【結果から読み取れる傾向】

- ・ 若年層ほど理想と現実の子の数の差が大きくなる(ギャップが大きくなる)
- ・ 3人以上育てている、育てたい人ほど環境やサポート面を重視
- ・ 育てている、育てたいのが2人以下の人ほど経済面を重視

## 【仮説】

### ◆産前支援も大事だが、産後支援はもっと大事なのではないか

- ・ 子育て中の方からは補助金の他、産後ケアや子育て支援施設等について意見が多数
- ・ 職場や居住地が地元から近いと親等からの支援が受けやすく子育て負担の軽減につながるのではないか

### ◆経済面での壁は補助金以外で解決できる(すべき)のではないか

- ・ 労働環境改善(賃金向上や福利厚生など)も経済や子育て環境の整備に繋がるのではないか
- ・ 結婚～子の就職までにかかるお金が見えず、不安が増しているのではないか

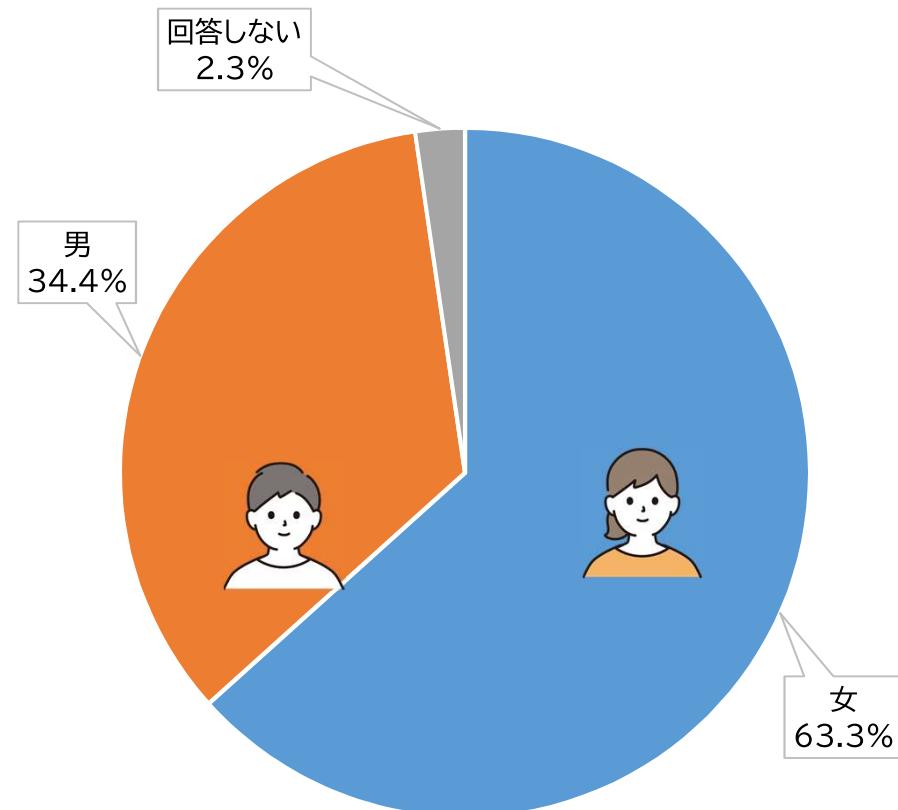
# 【補足】各背景の主な細分類項目

各背景(大分類)	主な細分類
経済的安定	正社員(賃金が安定的で福利厚生が充実)、配偶者の収入が高い
経済的不安	子どもが増えた際の養育費用
	非正規雇用のため、再就職できるか(安定できるか)
周囲からのサポート	配偶者の自主的な家事・育児参加、参加しやすい職場風土
	親との居住地が近く手助けがある(遠くて助けを受けづらい)
市の子育て支援事業が効果的	市の若者応援、子育て支援事業(施設・補助金等)が有効
年齢・体力・精神的に厳しい	現状の子育てで精いっぱい
	年齢的に厳しい。身体的・遺伝的な要因がある。
環境	子育てに対する職場理解
	職場が家から近い
	小1の壁
その他	夫婦2人で幸せに暮らしたい

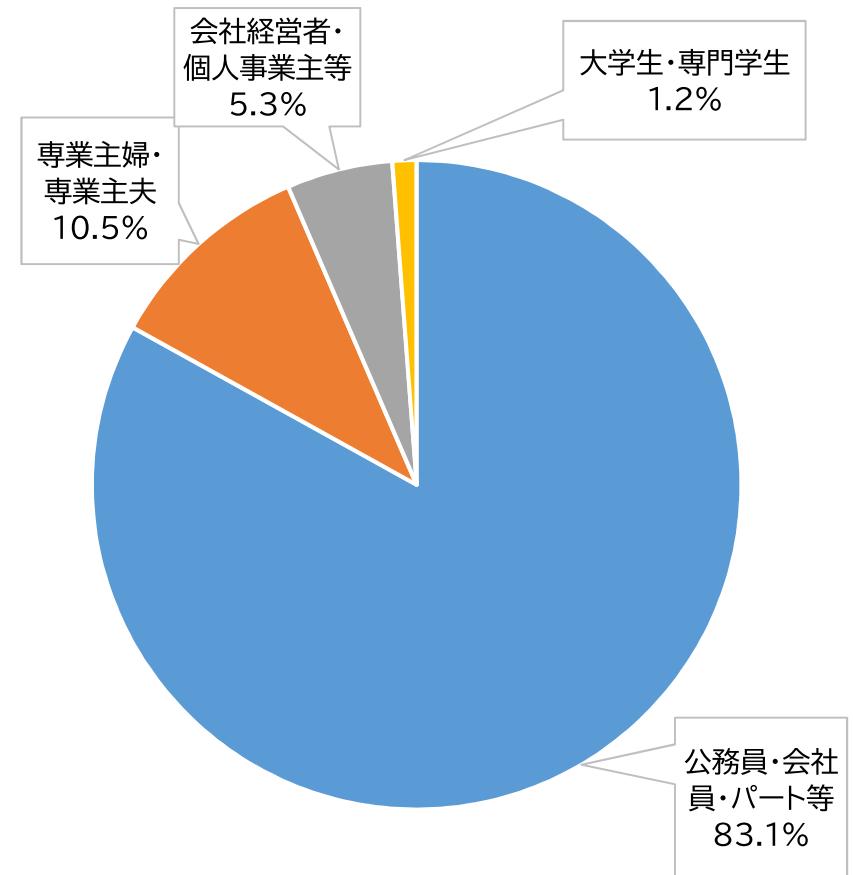
# 回答者基礎情報 婚姻や子どもの人数について

# 回答者属性

## 性別

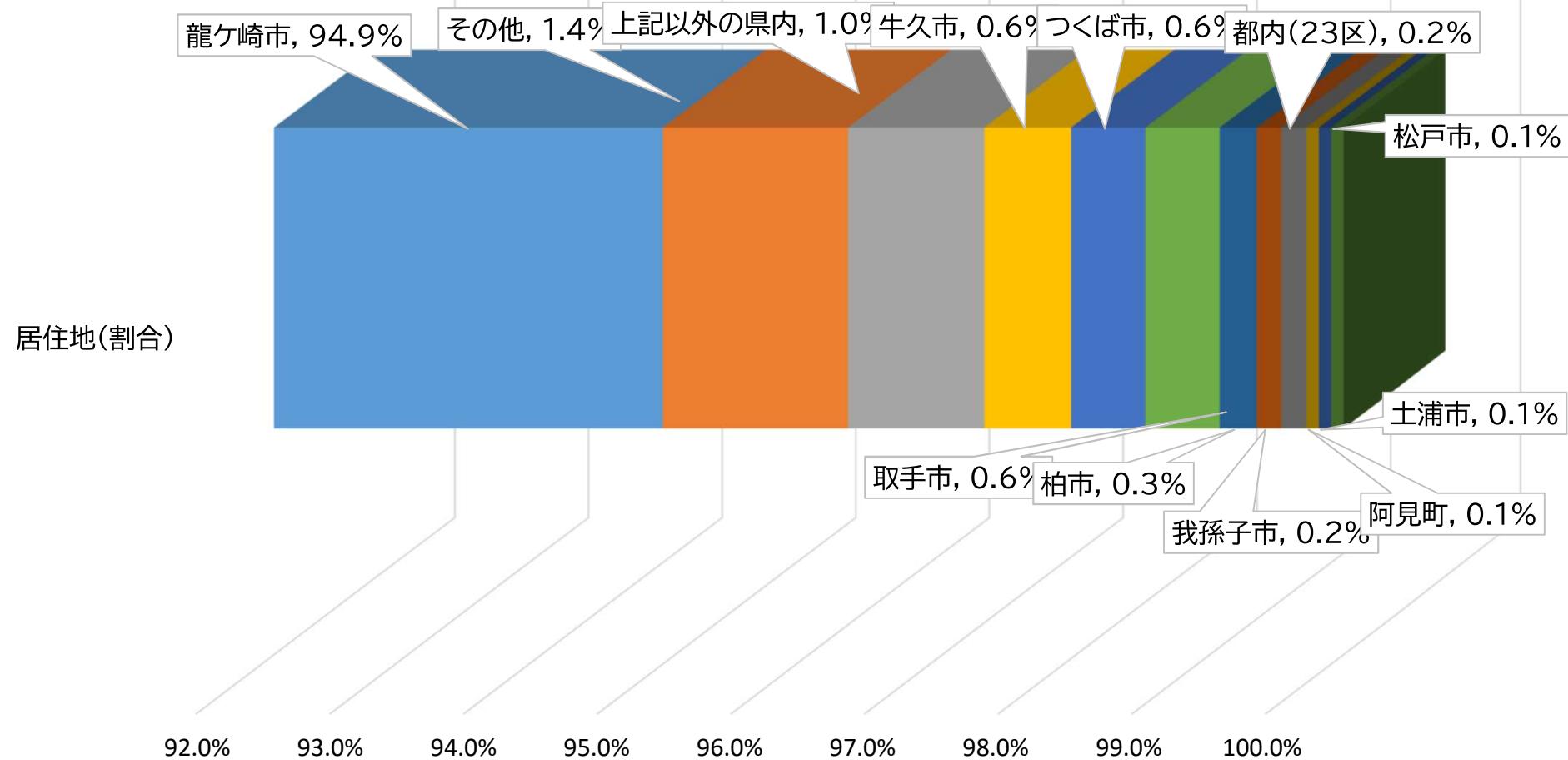


## ライフステージ



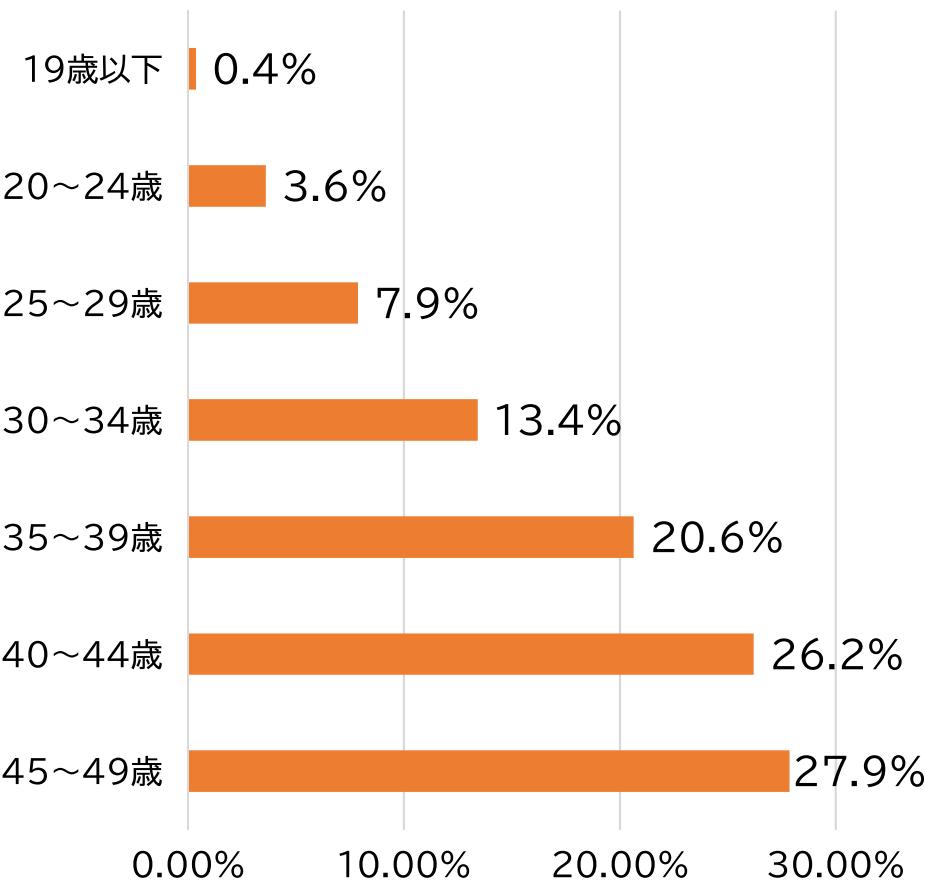
# 回答者属性

## ■ 居住地

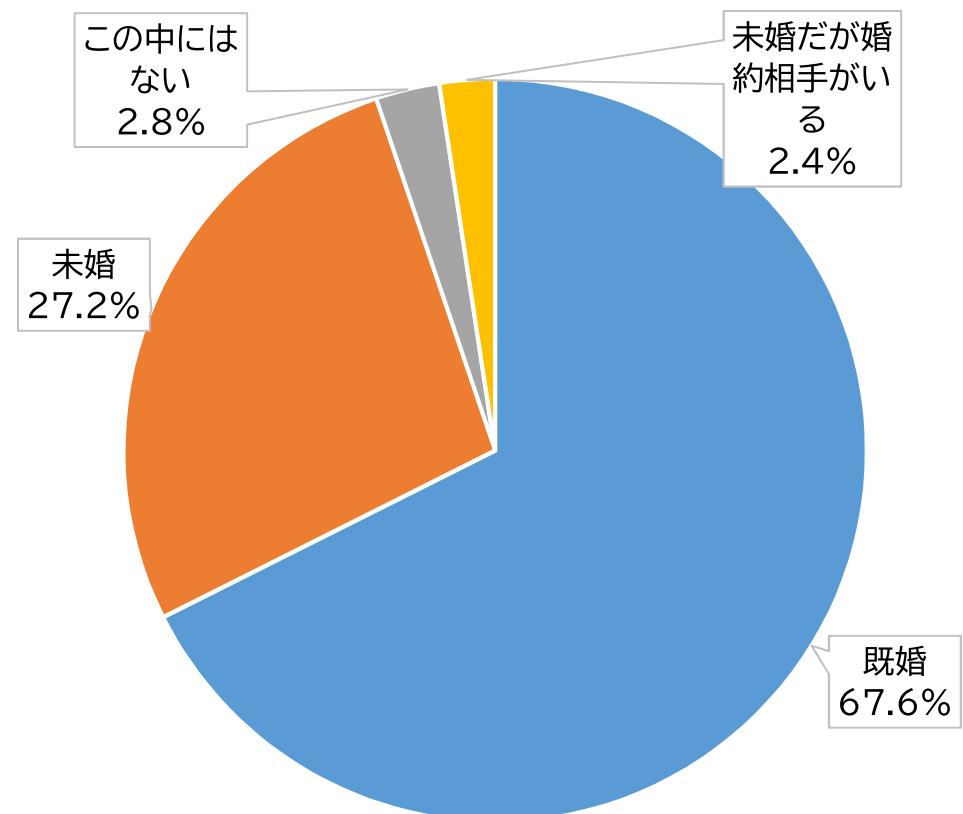


# 回答者属性

## 年齢

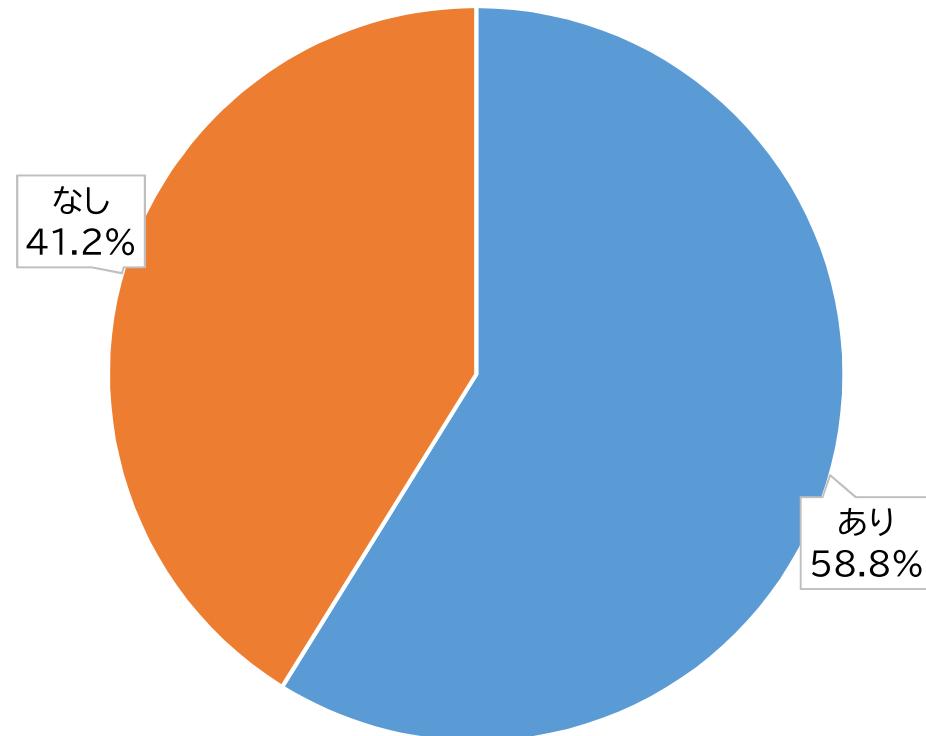


## 結婚状況

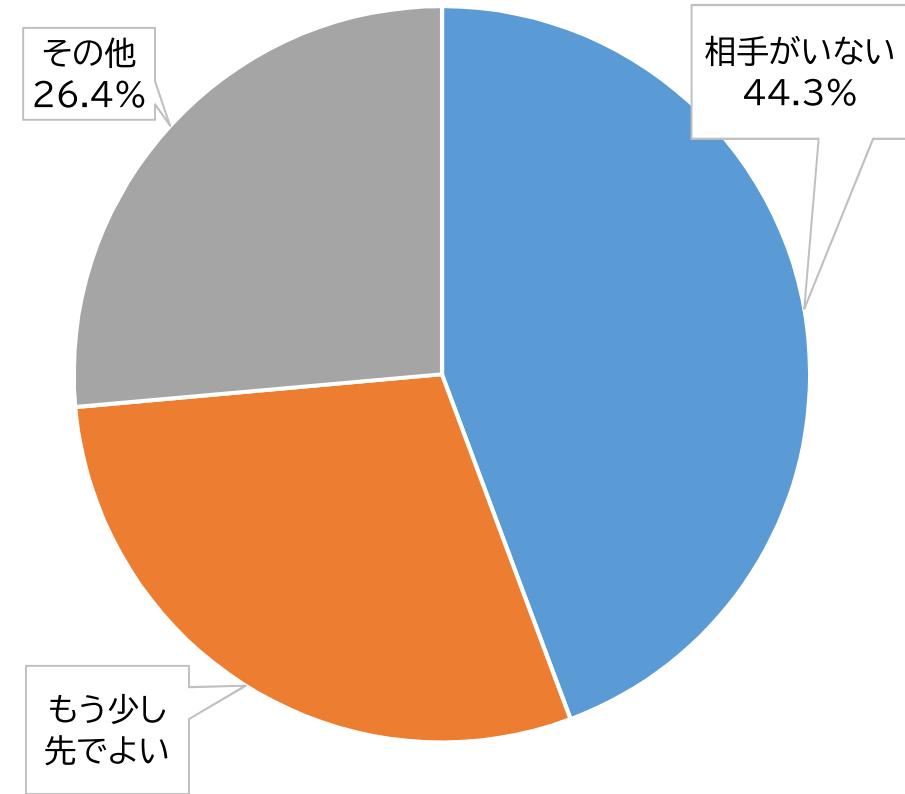


# 回答者属性

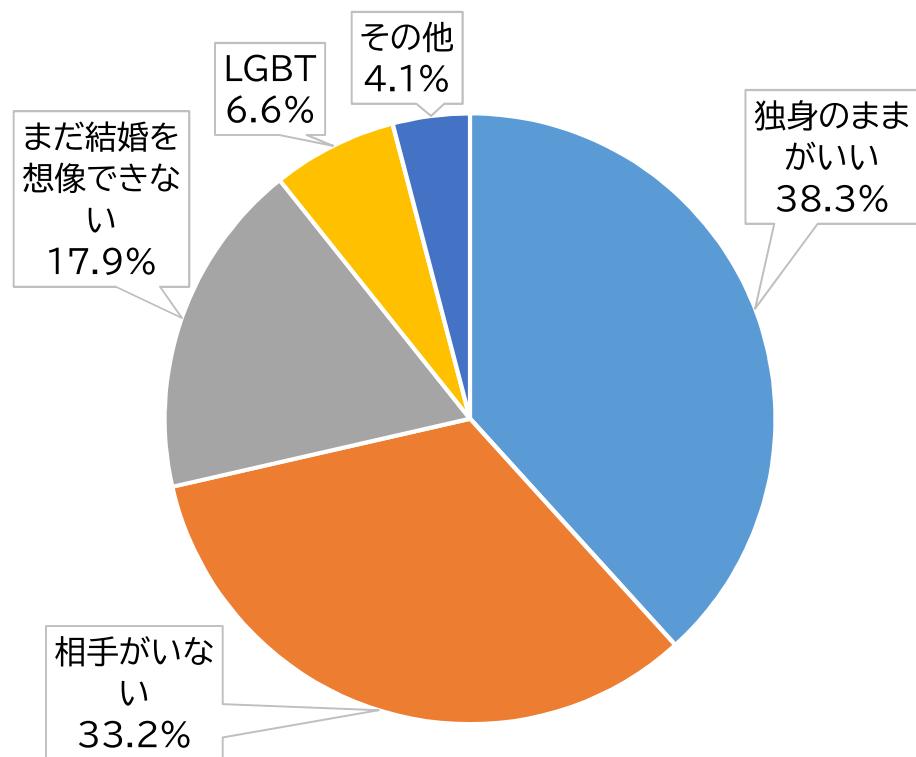
## ■ 結婚願望有無



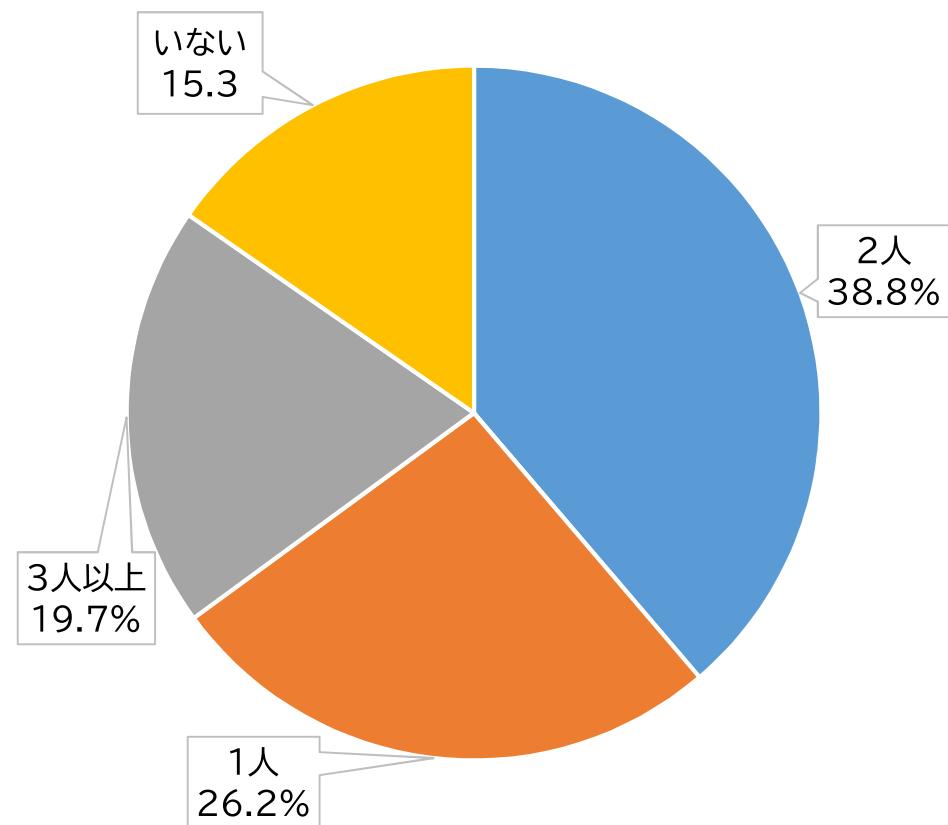
## ■ 未婚理由



## ■ 結婚願望がない理由

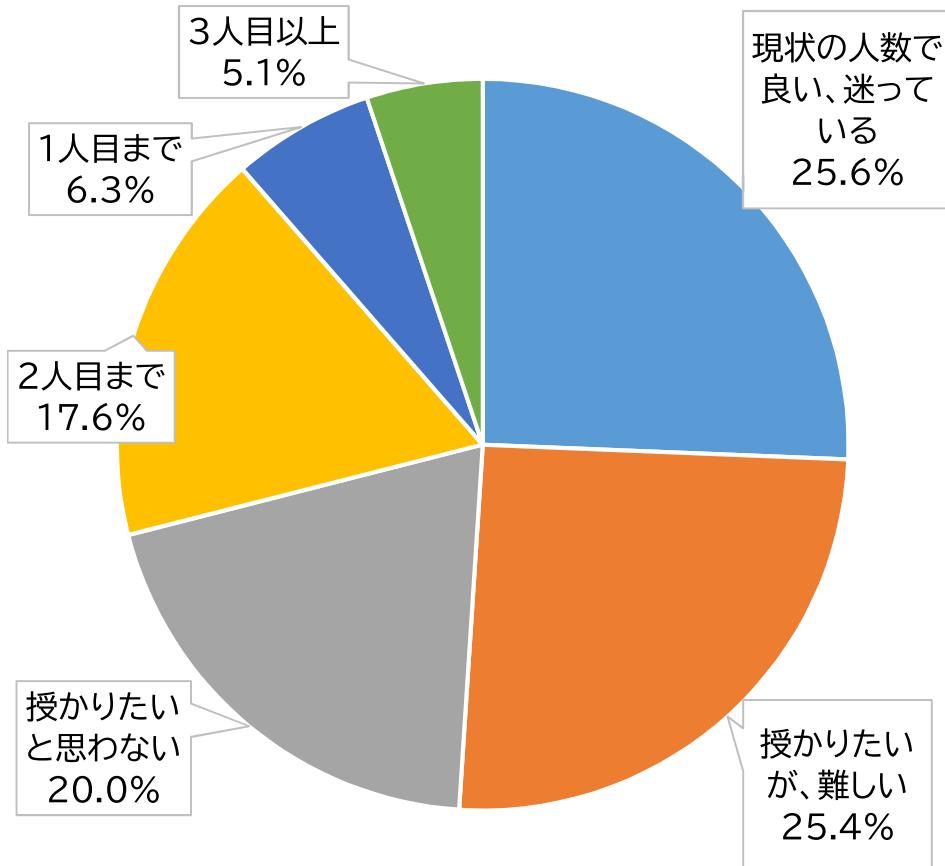


## ■ 子どもの数

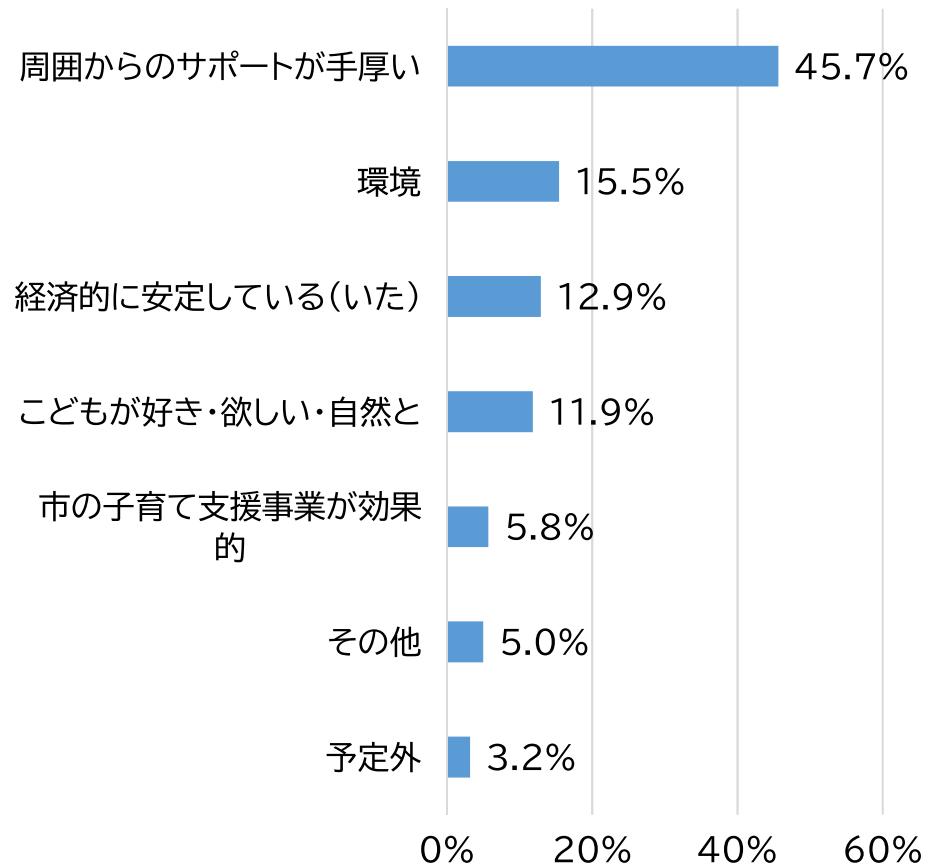


# 回答内容

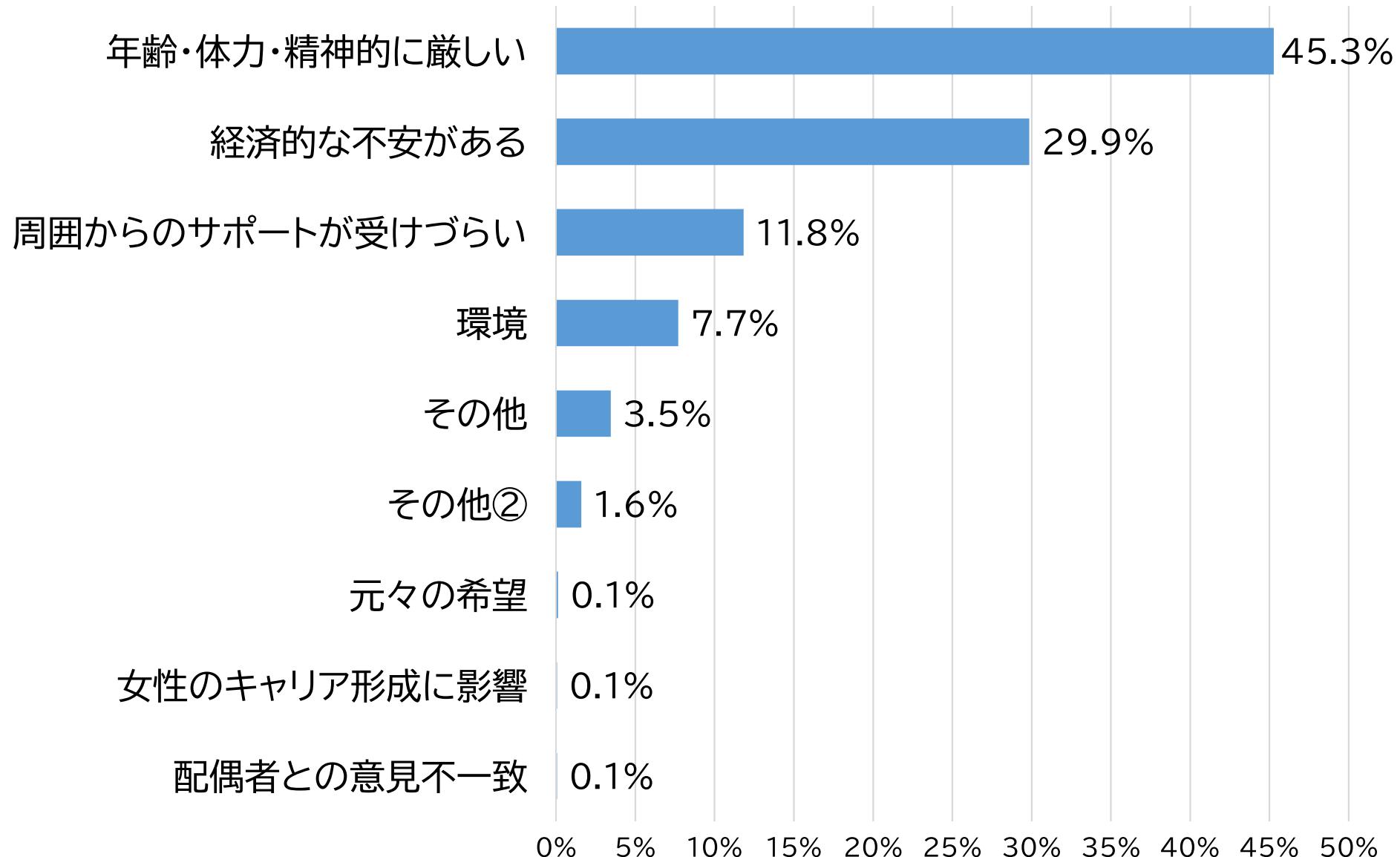
## ■ 理想の子の人数



## ■ 3人以上授かりたいと思えた理由

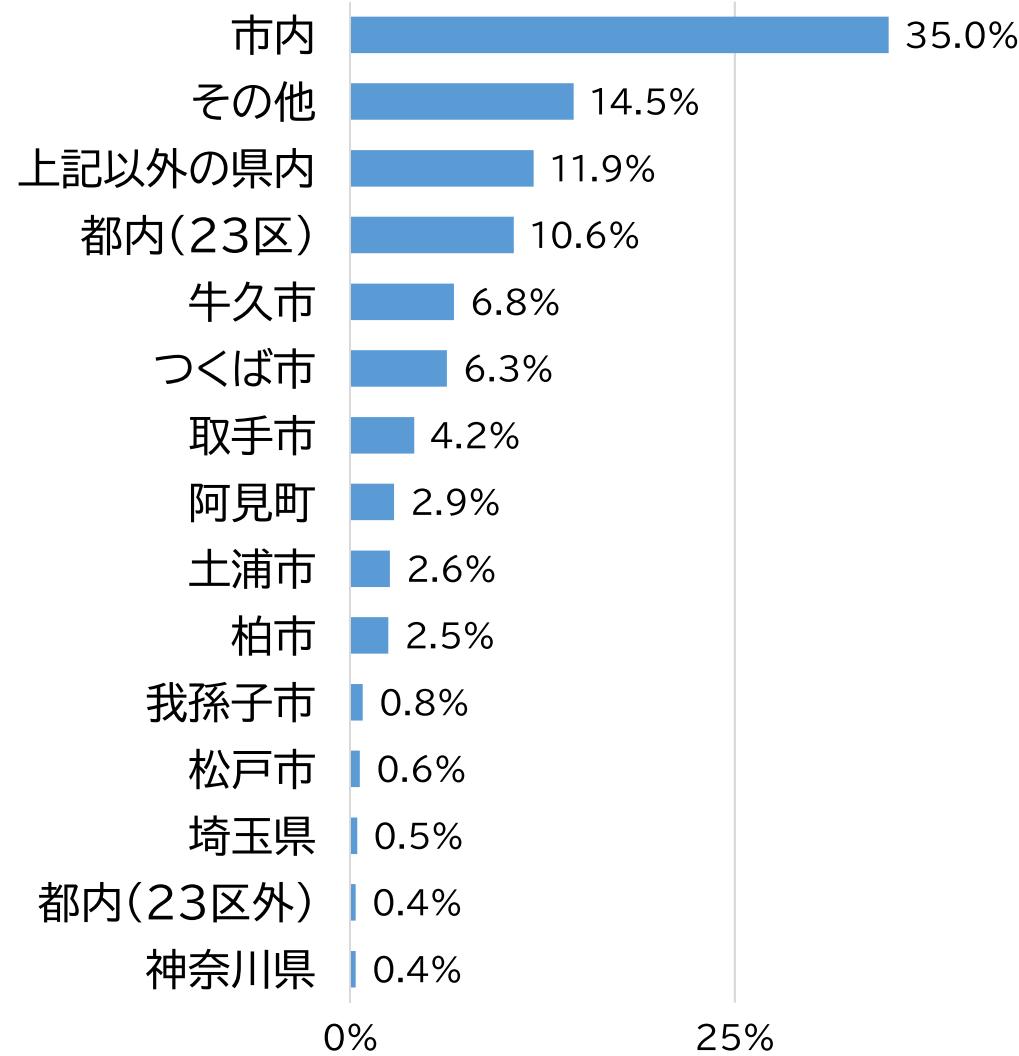


## ■ 子どもを授かりたくない 2人以下で良いと思った理由

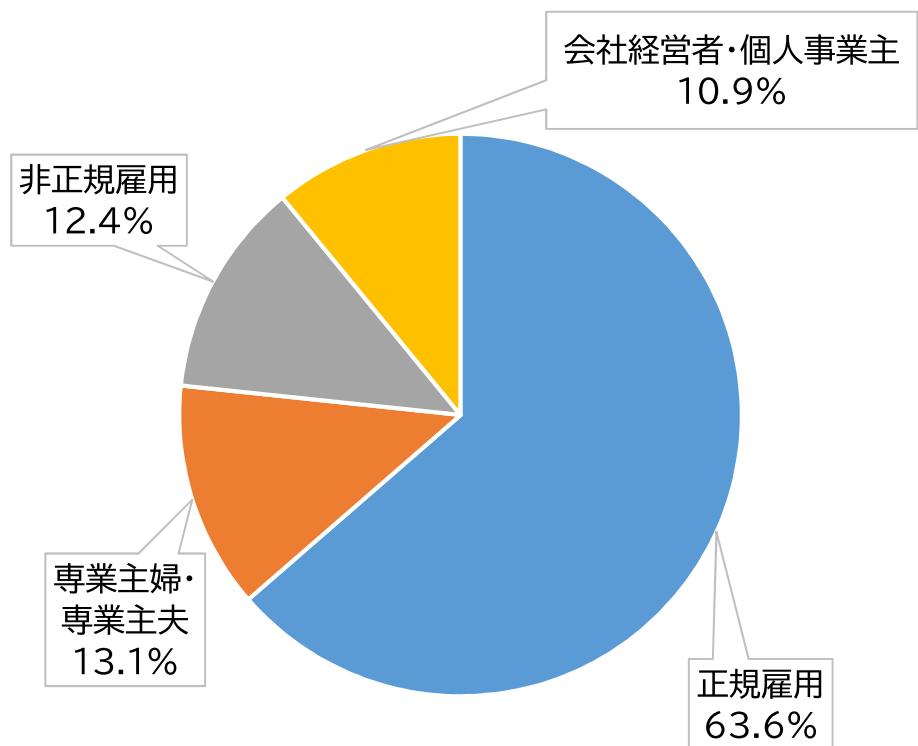


# 回答内容【雇用と子育て】

## ■ 勤務地

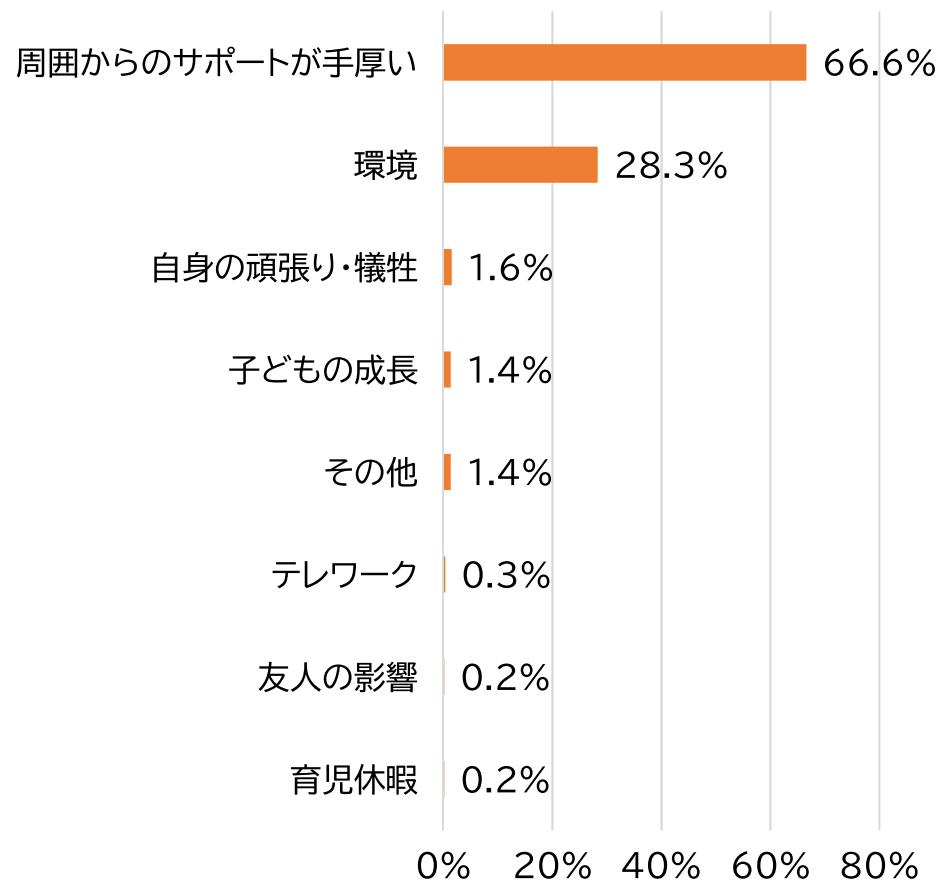


## ■ 理想の雇用形態

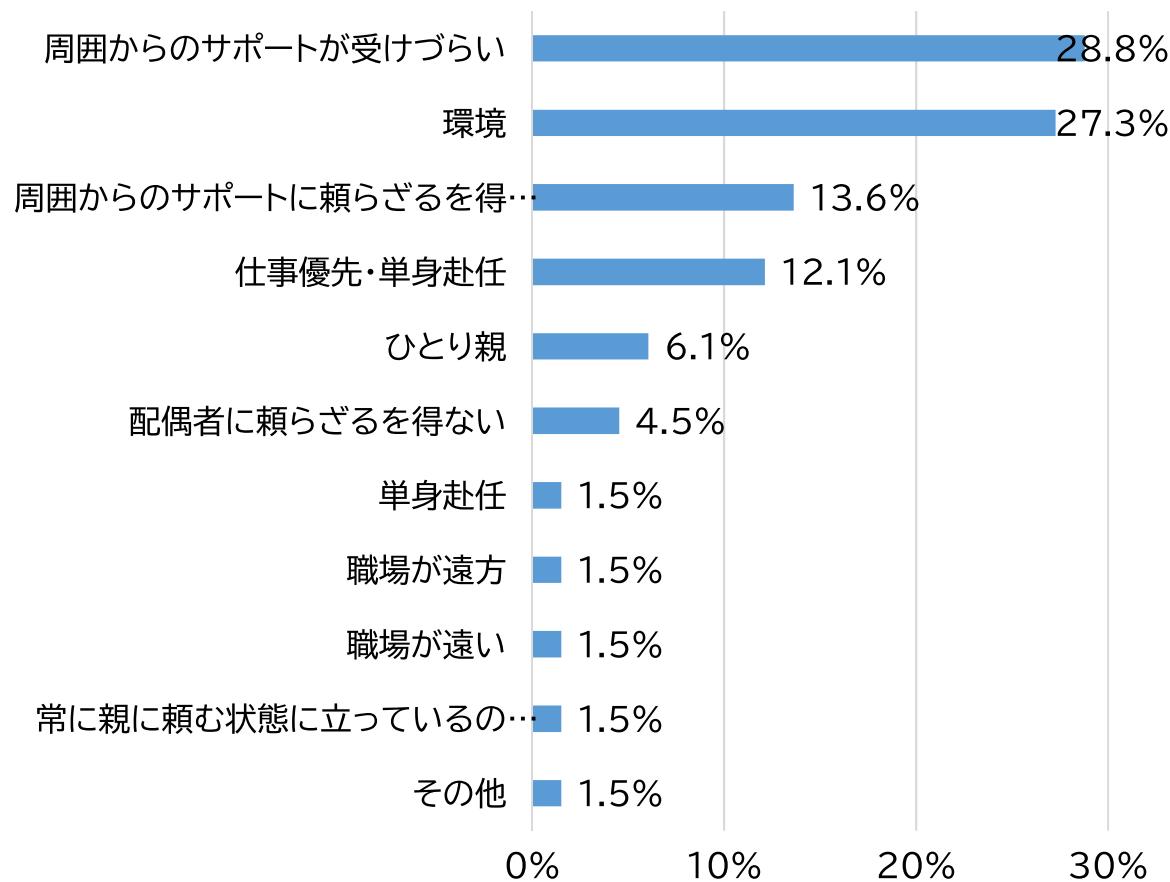


# 回答内容【雇用と子育て】

## ■ 子育てとの両立が上手くいっている理由



## ■ 子育てとの両立が上手くいっていない理由



# 高校生アンケート

---

## 将来のライフプランや 仕事に関する意識調査分析結果

# ≪基本情報≫アンケートの実施・回答状況

- ・ 実施期間:令和5年10月18日(水)～10月31日(火)
- ・ 実施方法:GoogleフォームによるWebアンケート
- ・ 対象者 :市内全4校(※)の全在校生

※市内高校:竜ヶ崎第一高等学校、竜ヶ崎第二高等学校、竜ヶ崎南高等学校、愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

項目	件数
市内全4校 在校生	1,388名
回答数(全件有効回答)	899件
有効回答率	64.8%

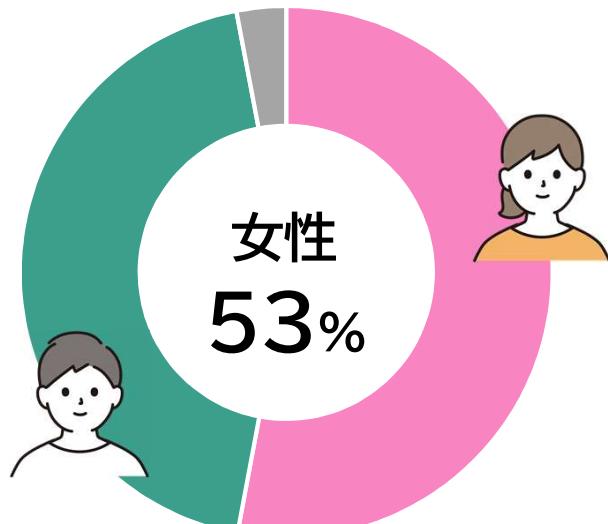


▲各校配布チラシイメージ

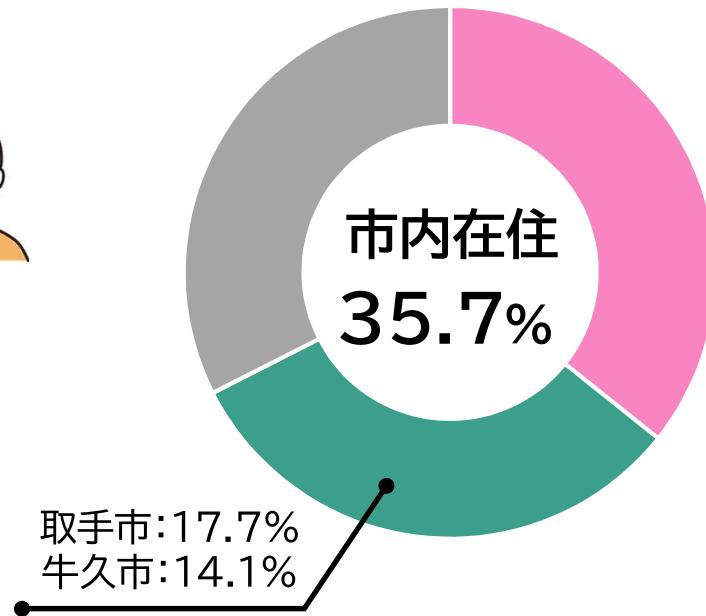
各校へ授業やHR等で  
時間を設けていただくよう  
依頼し、チラシを配布  
※あくまで任意

# «基本情報»男女比・居住地・学年

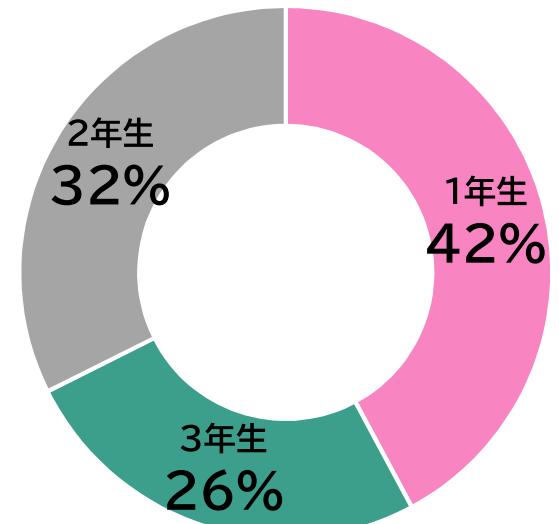
■ 男女比



■ 居住地



■ 学年



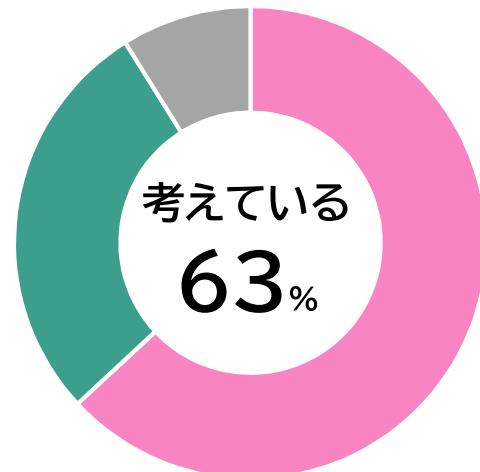


# 詳細集計①

結婚や子育てについて

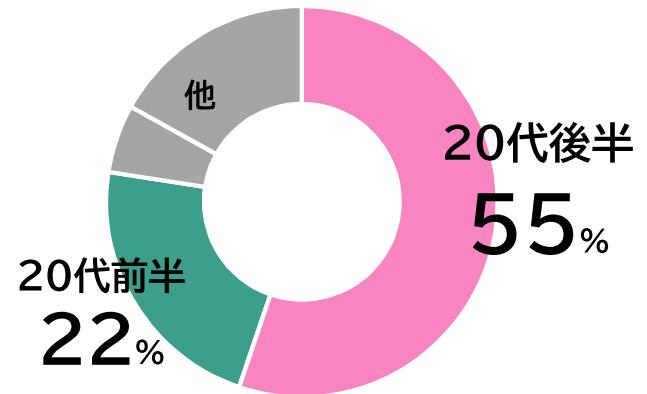
# 将来の結婚と子どもの人数(1)

■ 将来的な結婚(n=899)

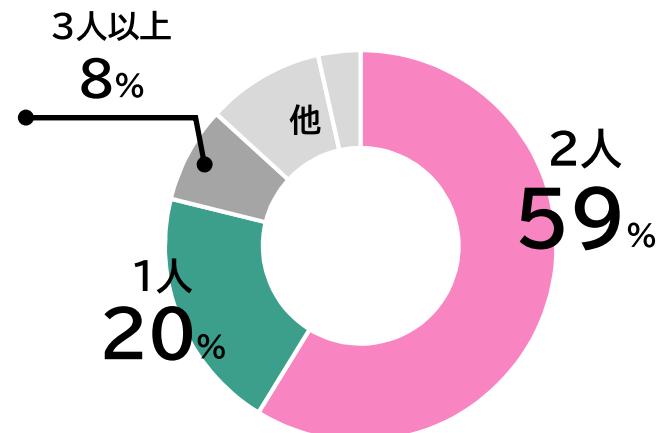


結婚を考えている  
63.1%(567人)  
のビジョン

■ 結婚の希望年齢(n=567)



■ 希望の子の人数(n=567)



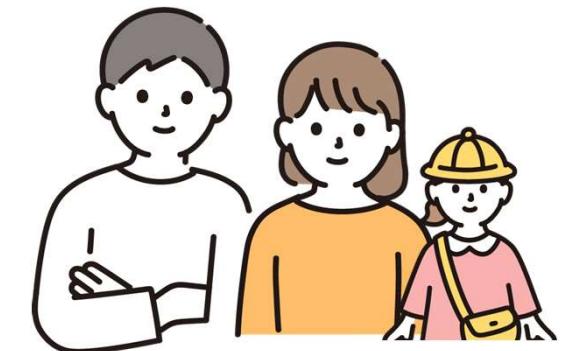
# 希望する子どもの人数



3人以上欲しい・育てたい人  
約**8%**(45人)



2人欲しい・育てたい人  
約**59%**(333人)



1人欲しい・育てたい人  
約**20%**(114人)



なぜ3人以上欲しい・育てたいと思えたのか

なぜ、欲しい・育てたいと思う子の数が  
2人以下なのか？

# 子どもを欲しい・育てたいと思えた／思えなかつた理由

Q.なぜ、子どもを3人以上  
欲しい・育てたいと思えたのか

3人以上授かりたいと思えた理由 (45人)

1	その他(子どもが好きだから等)	44% (29票)
2	環境	36% (24票)
3	経済的安定	12% (8票)
4	事業の有効性	5% (3票)
5	周囲からのサポート	3% (2票)

Q.なぜ子どもを欲しい・育てたいと思わなかつたか、2人以下まで良いのか

理想の子どもが2人以下で、それ以上は迷う／欲しい・育てたいと思わない (447人)

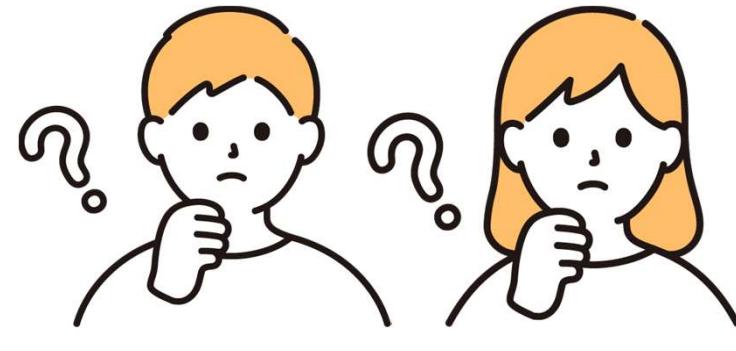
1	経済的不安	56% (497票)
2	体力的不安	20% (182票)
3	環境	17% (154票)
4	その他(良いイメージがある等)	4% (38票)
5	周囲からのサポート	3% (22票)

# 子どもを欲しい・育てたいと思えた／思えなかつた理由

Q.なぜ、結婚はしても子どもを  
欲しい・育てたいと思わないのか

子どもは欲しい・育てたいと思わない理由  
(20人)

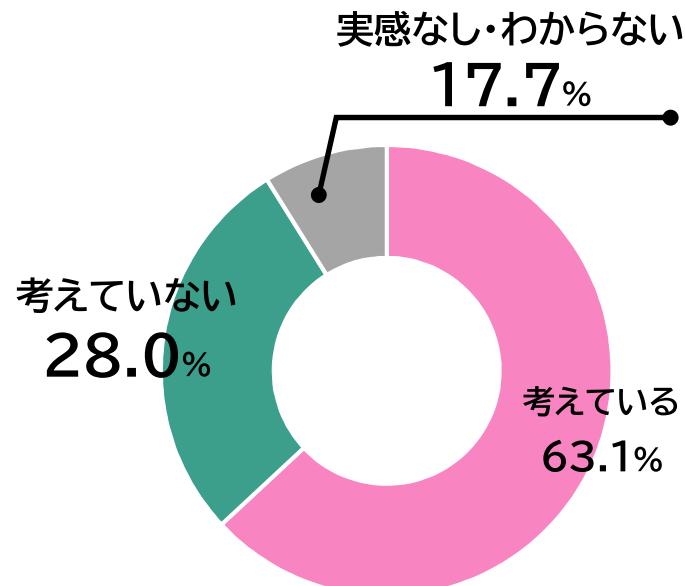
①	その他(子どもを好きではない等)	32% (16票)
②	経済的不安	28% (14票)
②	体力的不安	28% (14票)
④	環境	12% (6票)



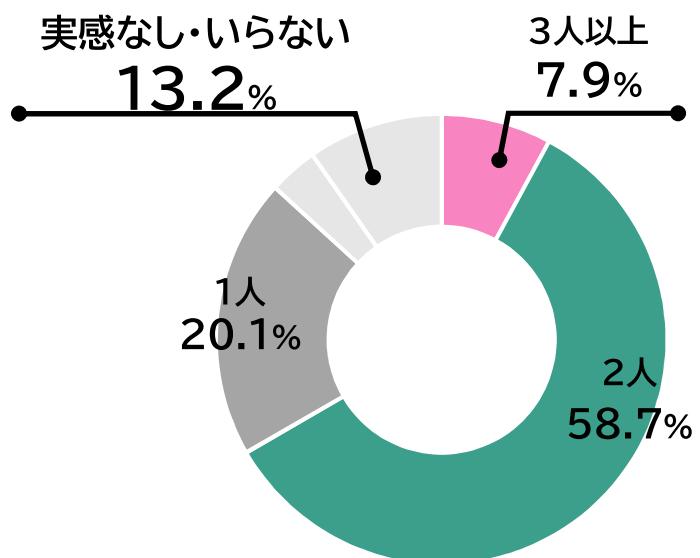
結婚や子育て(多子)に対して  
ポジティブな意見が過半  
一方で、高校生という未来ある年代で、  
結婚や多子に対してネガティブな  
意見が多いように感じとれる

# 将来の結婚と子どもの人数(2)

■ 将来的な結婚(n=899)



■ 希望の子の人数(n=567)



- ・なぜ将来的な結婚を考えていないのか？
- ・なぜ結婚や子育てについて実感がわいていないのか？
- ・将来結婚や子育てについて考え始めるのはいつ頃の年代か？

# 結婚や子育てに対して実感がわいていない理由

Q.なぜ現時点で、結婚や子育てに対して実感がわいていないのか

結婚に対して実感がわいていない理由 (80人)

1	年齢的要因	36% (29票)
2	興味・関心がない	24% (19票)
3	環境	23% (18票)
4	経済的不安	13% (10票)
5	その他(異性に恐怖心がある等)	4% (3票)

子育てに対して実感がわいていない理由  
(55人)

1	年齢的要因	51% (28票)
2	環境	22% (12票)
3	経済的不安	16% (9票)
4	興味・関心がない	9% (5票)
5	その他(育児ができるか不安等)	2% (1票)

# 結婚や子育てについて考え始める年代

Q.結婚や子育てについて  
考え始める年代はいつごろか

将来結婚や子育てについて考え始めるのはいつ頃の年代か？（899人）

1	20代前半	36% (325票)
2	20代後半	22% (195票)
3	わからない	16% (143票)
4	大学生・専門学生になってから	16% (140票)
5	高校在学中	6% (53票)



結婚や子育てを考え始める年代のうち「20代後半とわからない」で**約40%**は高い  
逆に「大学・専門学生」が**20%弱**は少ない  
⇒少子化問題に対し、10年後も同じ話をしているかも？

※リクルート(ゼクシィ)の調査から結婚までの平均交際期間は、3.5年(首都圏)、3.4年(茨城県)で、仮に20代後半から考え始めると、結婚＆第1子妊娠が30代前半になる可能性が高く、現状の龍ヶ崎から脱却は難しい

# 自由意見

## どうすれば龍ヶ崎に住みたいと思えるか

- 放課後遊べる(学生が好む)場所が欲しい  
⇒映画館やショッピングモールなど.
- 交通手段の改善
- 手当等の充実
- 自然をきれいにする

## どうすれば市内で就職したいと思えるか

- 高収入が見込める企業を増やす
- 労働環境・働き方の改善
- 若者に人気のある企業を増やす  
⇒チェーン店やショッピングセンター
- 余っている土地の有効活用(企業誘致等)
- 交通の便の改善子育てや結婚支援の充実

## 交通網について

- バス・電車の本数が多い・少ない(両意見あり)
- 龍ヶ崎線の本数が少ない、料金が高い
- バスの路線や時刻表が分かりづらい
- 不便と感じることがなかった
- JRや関東鉄道の駅があることは評価できる
- コミュニティバスの利便性が高い
- あまり使っていないからわからない

## 龍ヶ崎の魅力的な部分

- 駅がある
- 自然が豊か
- たつのこやま(龍ヶ岡公園)がある
- 撃舞
- 龍ヶ崎コロッケ(美味しい)

# 【補足】各背景の主な細分類項目

各背景(大分類)	主な細分類
経済的安定	自身が子育てするころの経済的安定を期待できている
経済的不安	結婚後の資金、子どもが増えた際の養育費用 物価高等が起因する経済不安全感
周囲からのサポート	親との居住地が近く手助けがある(遠くて助けを受けづらい)
市の子育て支援事業が効果的	自治体の事業(施設・補助金等)が有効
年齢・体力・精神的に厳しい	出産・育児に対する辛いイメージ
環境・イメージ	子育てに対する世論の変化や、環境が改善・改悪、キャリアへの影響等 家族や友人の影響で、何となく 親や親戚等を見ていて、結婚に対する良いイメージがない
その他	子どもが好き 夫婦の時間を大切したい 法律上の婚姻関係を必要と思わない 現時点で結婚のことは何も考えていない

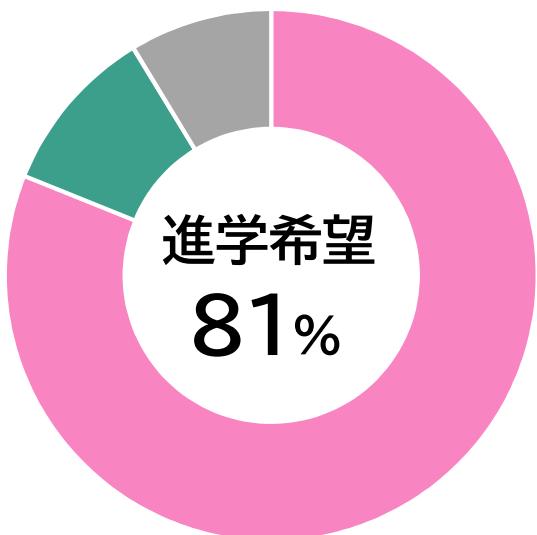


# 詳細集計②

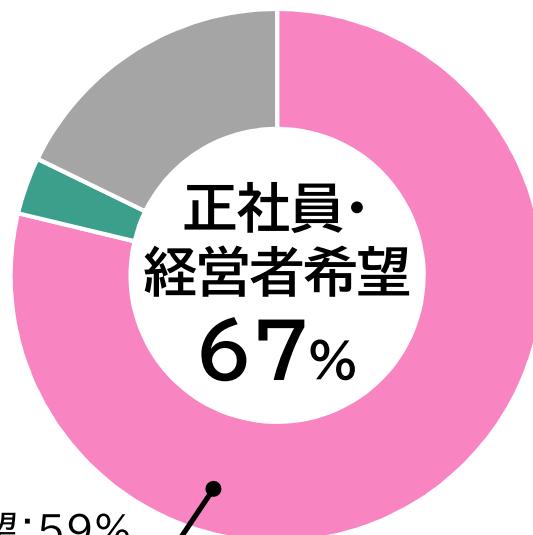
進学や職業について

# アンケート基本情報

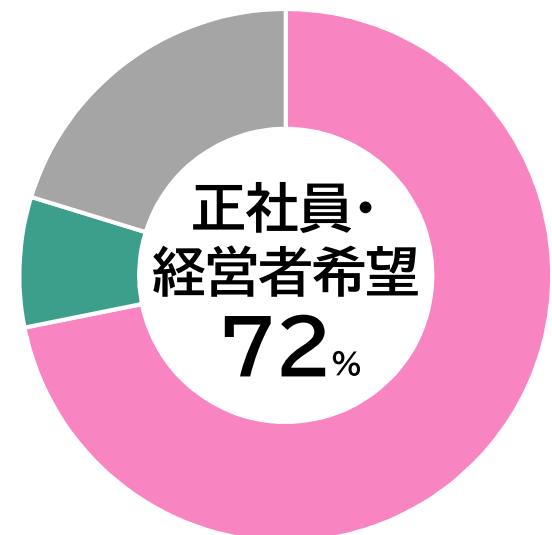
■ 進学希望有無



■ 将来の就職希望



■ 子育て期の就職希望



# アンケート基本情報

## ■ 進学希望有無



進学希望  
81%(729人)

進学希望者  
81%(729人)のうち

## ■ 将来の就職希望



正社員・経営者希望  
85%(616人)

## ■ 子育て期の就職希望



正社員・経営者希望  
75%(548人)

# 進学希望者で正規従業員・経営者を希望する/しない理由

## Q.子育て期に正規従業員・経営者として働き続けたいと思っている理由

### 子育て期も、正規従業員や経営者として働き続けたい理由 (548人)

1	雇用の安定性	52% (484票)
2	キャリア形成	23% (216票)
3	経済的不安	17% (154票)
4	環境	7% (69票)
5	その他	1% (8票)

## Q.子育て期は非正規従業員を希望もしくは働きたくないと思っている理由

### 子育て期は、非正規従業員での雇用希望や働きたくない理由 (59人)

1	勤務形態の柔軟性	40% (36票)
2	家庭優先	24% (21票)
4	経済的不安がない	11% (10票)
4	結婚・出産等のキャリアへの影響	11% (10票)
5	学力・学歴的な問題	9% (8票)

# 非進学希望者で正規従業員・起業家を希望する/しない理由(参考)

## Q.子育て期に正規従業員・経営者として働き続けたいと思っている理由

### 子育て期に、正規従業員や経営者として働き続けたい理由 (98人)

1	雇用の安定性	56% (77票)
2	キャリア形成	22% (30票)
3	経済的不安	15% (20票)
4	環境	7% (9票)

## Q.子育て期に正規従業員・経営者として働き続けたいと思っている理由

参考値

## Q.進学を迷っている／希望しない理由

### 進学を迷っている／希望しない理由(170人)

1	就職希望	32% (67票)
2	学力的理由	23% (48票)
3	学力・経済両面	18% (38票)
4	経済的理由	16% (33票)
5	その他／企業願望あり	11% (22票)

### 子育て期は、非正規従業員での雇用希望や働きたくない理由 (12人)

1	勤務形態の柔軟性	47% (7票)
2	家庭優先	20% (3票)
4	・学力・学歴的な問題 ・結婚・出産等のキャリアへの影響	各13% (各2票)
5	経済的不安がない	7% (1票)

# アンケート基本情報

## ■ 現在の居住地



市内 36%(321人)



市外 64%(578人)

- ・居住地別(市内、市外)で将来の就職希望エリアに違いができるか
- ・同じく、引っ越しや子育て環境(エリア)にも違いができるか

# 将来の就職希望エリア

## Q. 将來の就職希望エリア

### 市内在住者の将来の就職希望エリア(321人)

1	わからない	31% (100票)
2	県内(龍ヶ崎市から車や電車で1時間以内)	22% (72票)
3	県外(龍ヶ崎市から車や電車で1時間程度)	20% (65票)
4	県外(龍ヶ崎市から車や電車で1時間以上)	15% (49票)
5	県内(龍ヶ崎市から車や電車で1時間以上)	6% (20票)

### 市外在住者の将来の就職希望エリア(578人)

1	わからない	34% (196票)
2	県外(龍ヶ崎市から車や電車で1時間以上)	23% (131票)
3	県外(龍ヶ崎市から車や電車で1時間程度)	20% (114票)
4	県内(龍ヶ崎市から車や電車で1時間以内)	15% (86票)
5	県内(龍ヶ崎市から車や電車で1時間以上)	5% (28票)

# 将来の引越し希望

## Q.将来の引越し希望

### 市内在住者の将来の引越し希望有無(321人)

1	引っ越したい (通勤時間を30分程度にしたい)	27% (87票)
2	引っ越したい (一人暮らしをしたい)	26% (83票)
3	わからない	17% (56票)
4	引っ越したい (通勤時間を1時間以内にしたい)	12% (40票)
5	引越しは考えていない	12% (38票)

### 市外在住者の将来の引越し希望有無(578人)

1	引っ越したい (通勤時間を30分程度にしたい)	29% (168票)
2	引っ越ししたい (通勤時間を1時間以内にしたい)	19% (112票)
3	わからない	19% (108票)
4	引っ越ししたい (一人暮らしをしたい)	16% (95票)
5	引越しは考えていない	12% (70票)

# 将来の子育て希望エリア

## Q. 将來の子育て希望エリア

### 市内在住者の将来の子育て希望エリア(321人)

1	わからない	46% (147票)
2	龍ヶ崎市に近い市外でしたい	25% (81票)
3	龍ヶ崎市内でしたい	12% (37票)
4	龍ヶ崎市外でしたい	10% (33票)
5	子育てしたくない	7% (23票)

### 市外在住者の将来の子育て希望エリア(578人)

1	わからない	44% (253票)
2	子育てしたくない	25% (143票)
3	龍ヶ崎市に近い市外でしたい	17% (96票)
4	龍ヶ崎市外でしたい	11% (65票)
5	龍ヶ崎市内でしたい	4% (21票)

# 【補足】各背景の主な細分類項目(正規従業員の理由)

各背景(大分類)	主な細分類
雇用の安定性	安定した収入を得たい
	再就職等に対する不安
	配偶者への経済的な依存を回避
	配偶者や子どもに心配をかけたくない
キャリア形成	能力を発揮したい
経済的不安	配偶者のみの収入だと不安
環境	周りが正規従業員のため、自然と 家族に子育てを頼れる環境にある
	配偶者と離婚や死別をしたときに困らないように
その他	専業主婦(夫)になることで家庭内での立場が弱まるのが嫌だから 労働は国民の義務だと思っている
	やりたいことをやることで自分を好きでいられるから

## 【補足】各背景の主な細分類項目(非正規従業員の理由)

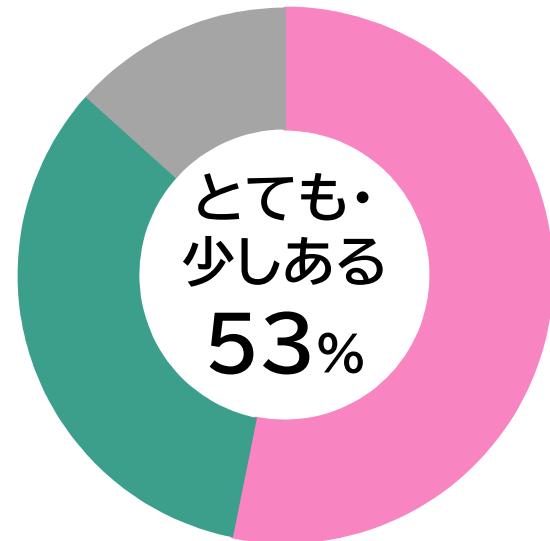
各背景(大分類)	主な細分類
勤務形態の柔軟性	自分の好きな時間、形態で働きたい
	正規職員は拘束時間も長いためストレス
家庭優先	経済的に厳しくても、子どもとの時間をより大切にしたい
	子どもの身に何かあったときにすぐに駆け付けられる
キャリアへの影響	結婚や出産等が就職の際に不利に働くのではないかと不安
経済的不安がない	配偶者のみの収入で経済的に安定していると期待
	契約社員やアルバイトでも実家から通っていれば生活に苦労しない
	夫に稼いでもらいたい
学力・学歴的な問題	学力、学歴的に正規従業員として就職できる自信がない

# 詳細集計③

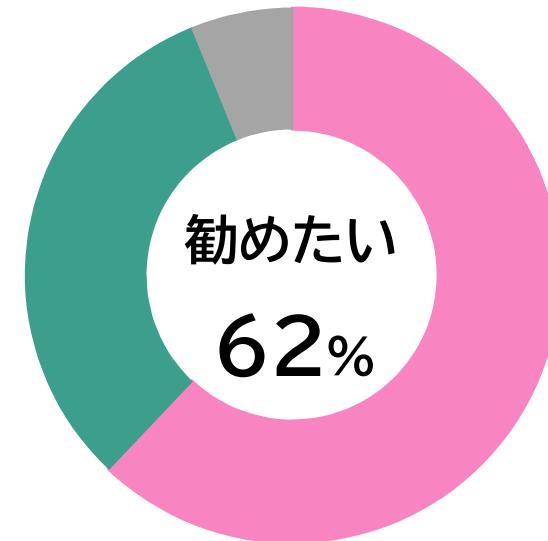
龍ヶ崎のまちについて(参考)

# 愛着と推奨意欲①

■ 龍ヶ崎市への愛着



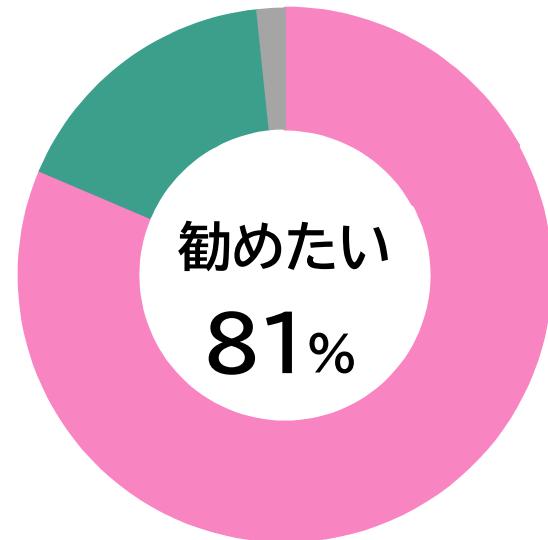
■ 推奨意欲



※とても・少しある: 53%  
とても・少しある: 62%  
少しはある: 25%  
少しはある: 29%  
少しはない: 15%  
全くない: 7%  
全くない: 9%  
少しありません: 52%  
少しありません: 1%

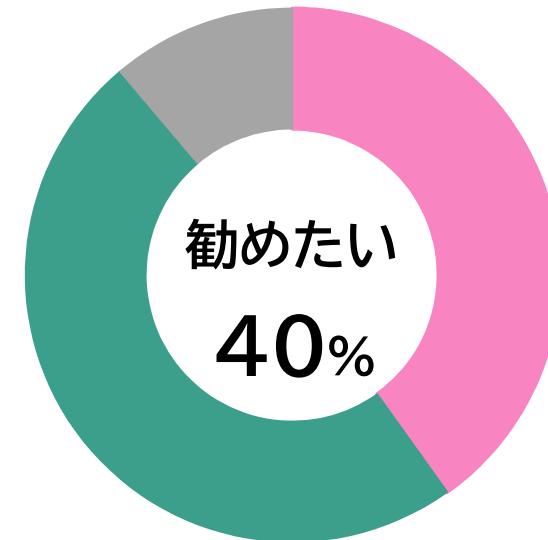
# 愛着と推奨意欲②

■ 推奨意欲  
(愛着がある人)



※とても勧めたい:2%  
勧めたい:15%  
少しは勧めたい:64%

■ 推奨意欲  
(愛着がない人)



※とても勧めたい:0.24%  
勧めたい:2%  
少しは勧めたい:38%

# さんさん館利用者アンケート

さんさん館利用者の家族や  
仕事に関する意識調査分析結果

# «基本情報»アンケートの実施・回答状況

- 実施期間:令和6年1月24日(水)～1月31日(水)
- 実施方法:GoogleフォームによるWebアンケート
- 対象者 :さんさん館子育て支援センターの利用者

項目	件数
チラシ配布部数	約70部
回答数(全件有効回答)	46件
有効回答率	65.7%



▲配布チラシイメージ

先生方からさんさん館  
利用者へチラシを配布  
いただくよう依頼。  
※あくまで任意

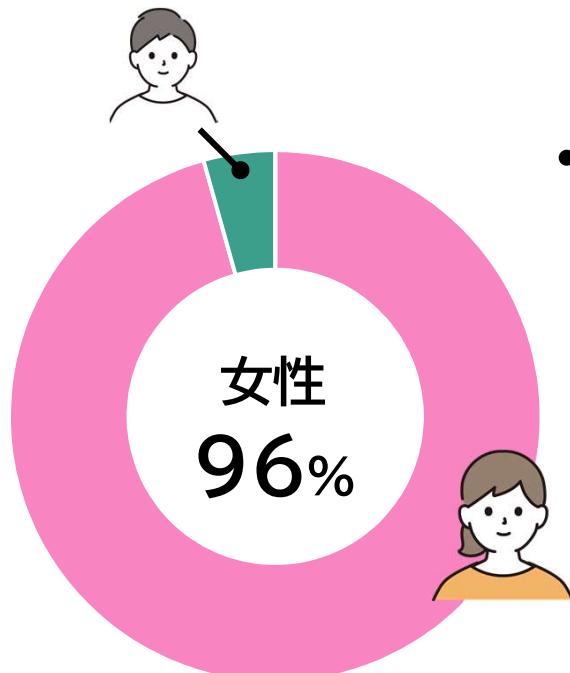


# 詳細集計①

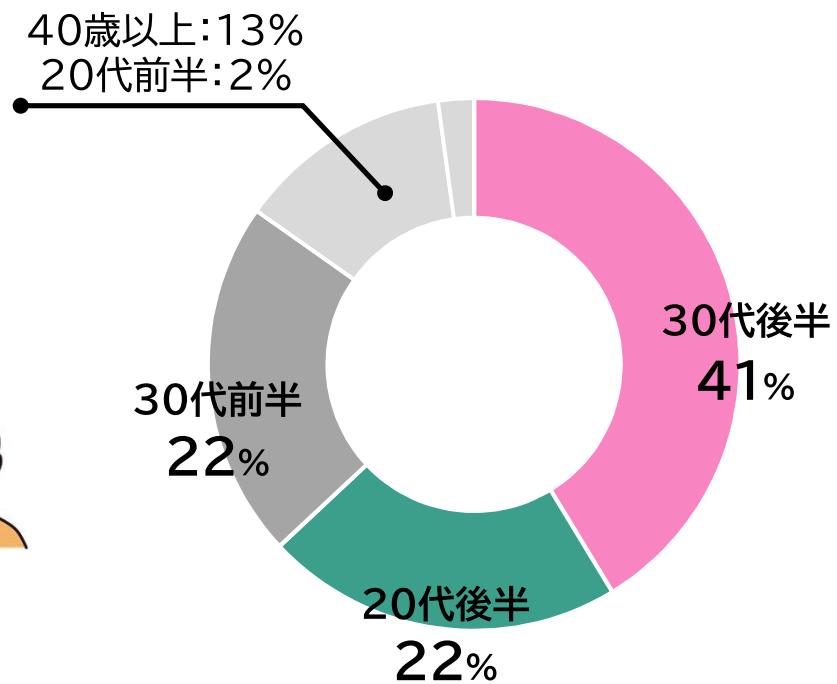
結婚や子育てについて

# 男女比・年代・子の人数

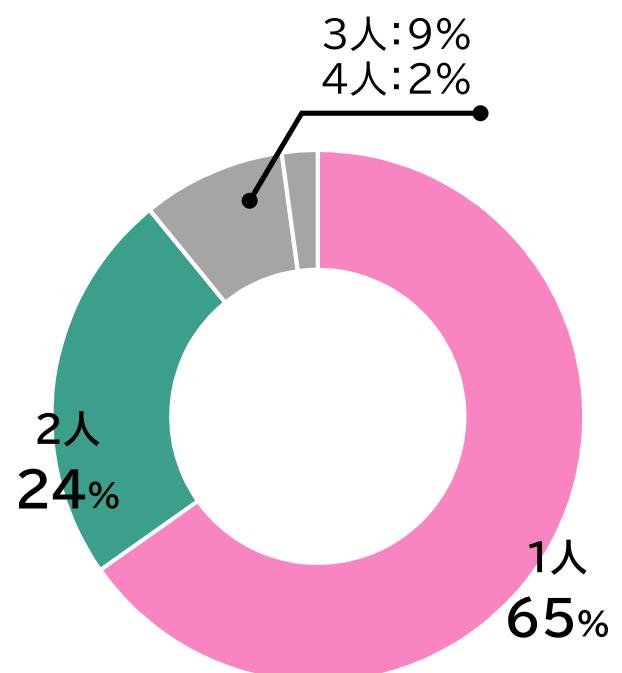
■ 男女比



■ 年代



■ 子の人数

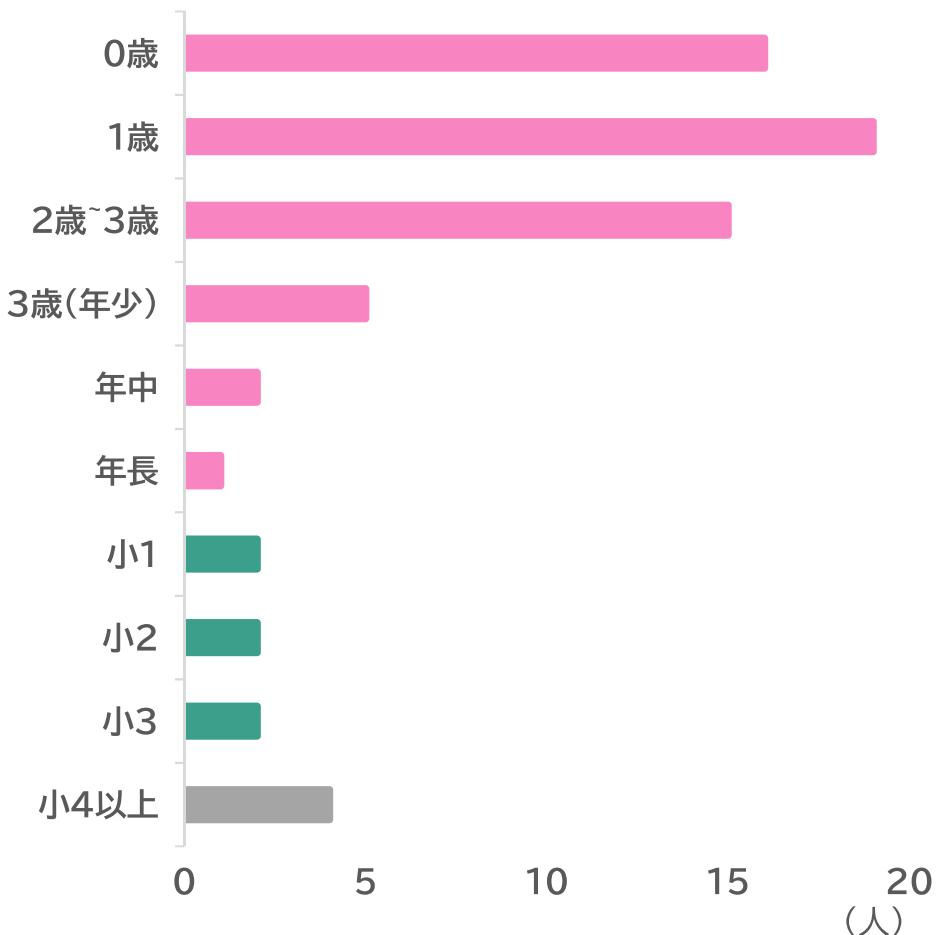
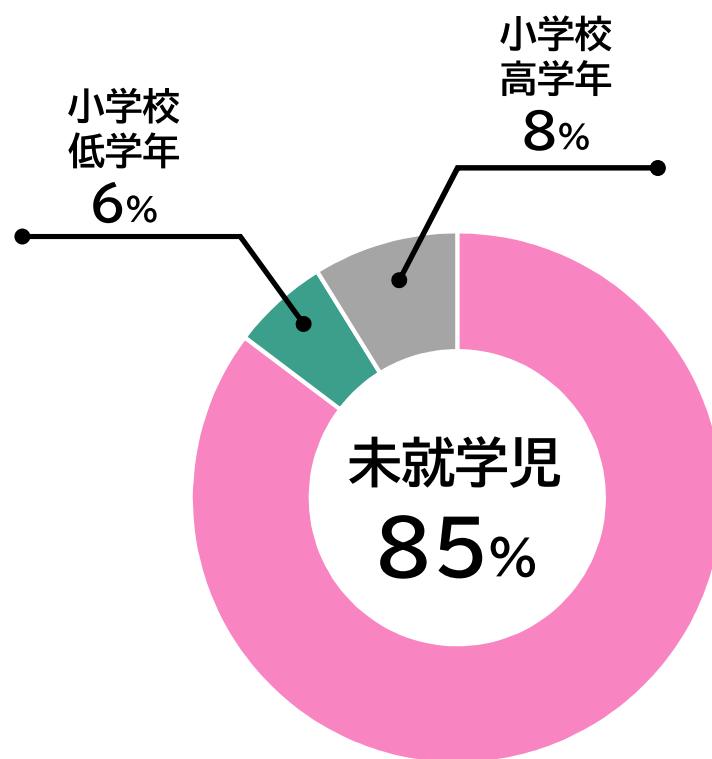


# 子の年齢

■ 子の学年

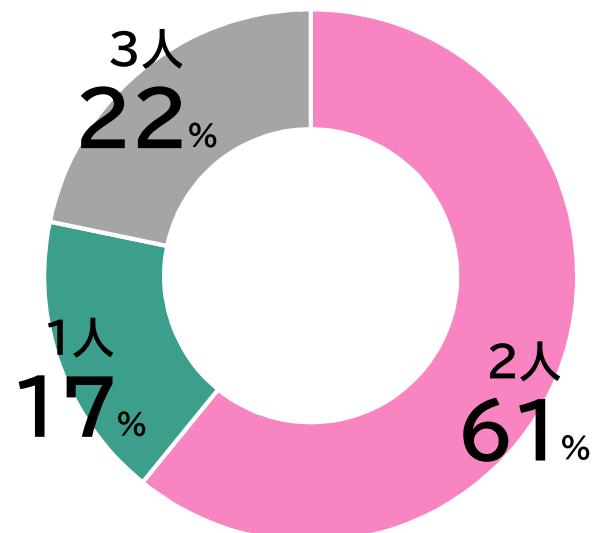
40歳以上:13%  
20代前半:2%

■ 内訳

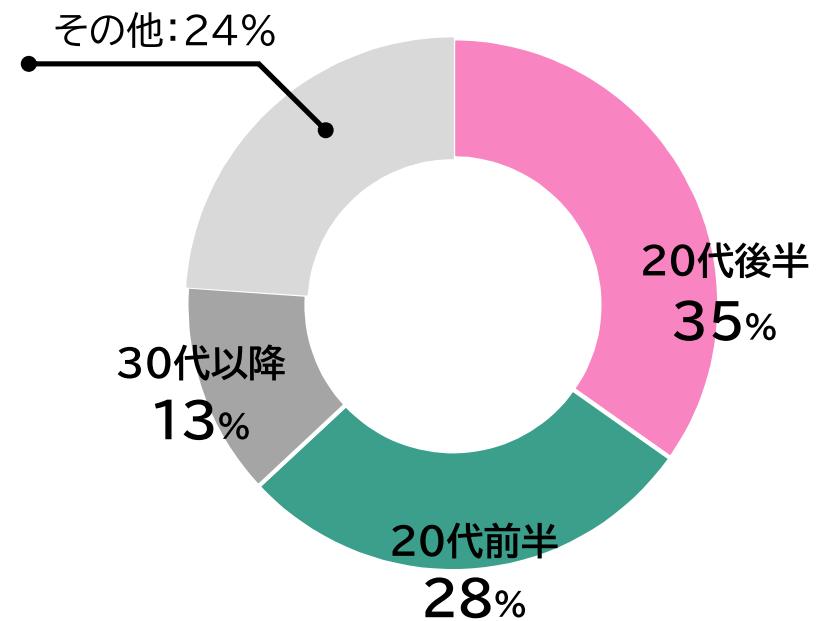


# 希望の子の人数・結婚や子育てを考え始めた時期

■ 希望の子の人数

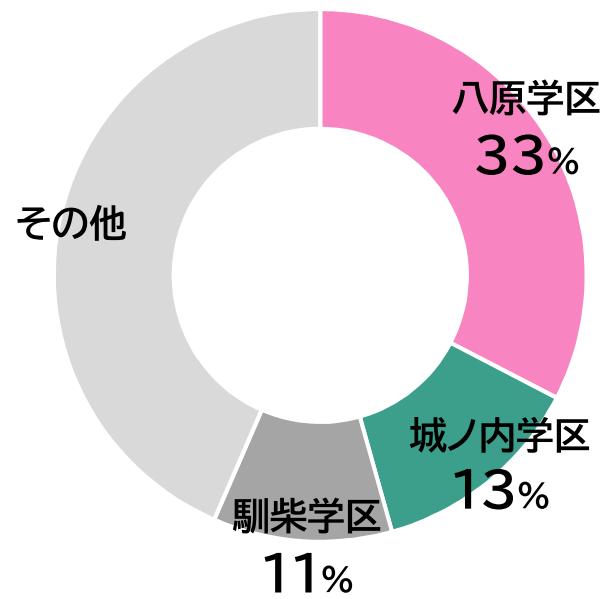


■ 結婚を考える時期

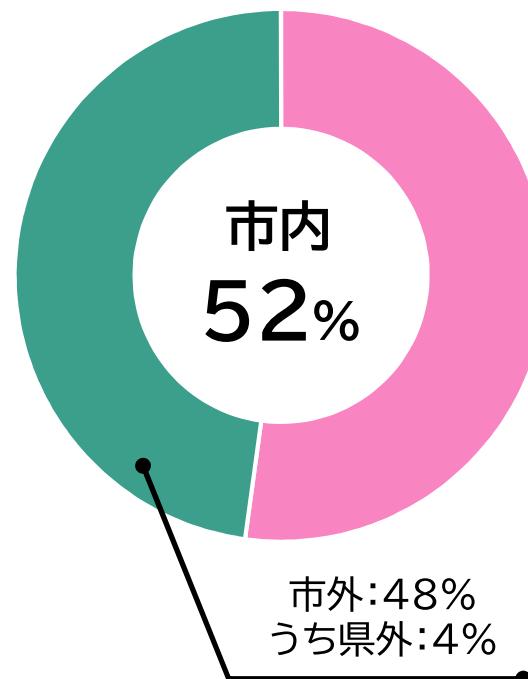


# 居住エリア・実家の所在地

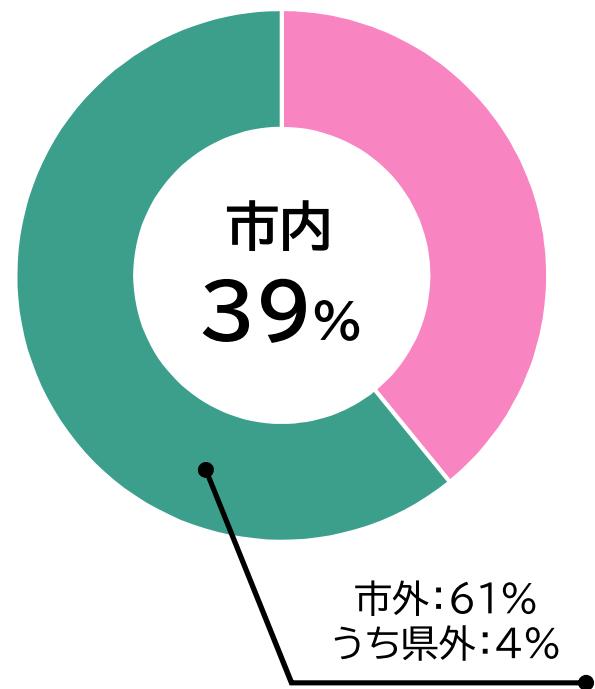
■ 居住エリア



■ 自身の実家



■ 配偶者の実家



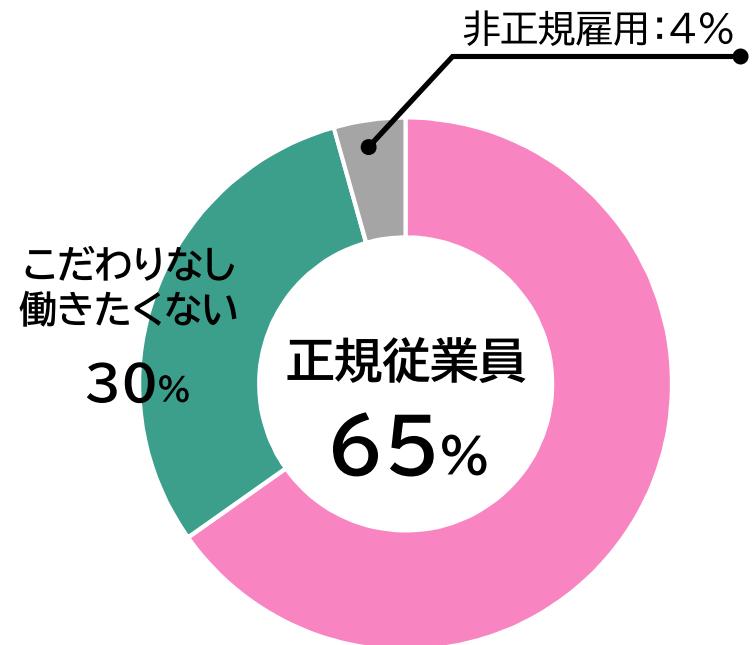
# 子育てで困ったこと／子育て期の希望雇用形態

## Q.子育てで困ったこと／子育て期の希望の雇用形態

### 子育てで困ったこと

①	金銭的困窮に至ってしまった (至ってしまったことがある)	23% (18票)
②	・高齢出産(産後の体力負担が辛い) ・ワンオペになってしまった	各16% (各12票)
④	・キャリアへの影響があった ・子育てとの両立が難しかった (職場風土や福利厚生など)	各14% (各11票)
⑤	夫婦で子育てを背負いこんでしまった	9% (7票)

### 子育て期の希望の雇用形態



# 正規／非正規雇用として働き続けたい理由

## Q.子育て期に正規従業員として働き続けたい理由

### 正規従業員として働き続けたい理由

1	経済的安定を求めている	50% (30票)
2	配偶者の収入のみだと厳しい	30% (各18票)
3	・周りが正規従業員で普通だと思う ・ワークライフバランスを保てる (配偶者が育児等に積極的)	各8% (各5票)
5	・ワークライフバランスを保てる (親等からのサポートが手厚い)	3% (2票)

子育て期の雇用形態について  
理想と現実でギャップがあると回答した人は  
約70%

## Q.子育て期に非正規従業員として働き続けたい／働きたくない理由

### 非正規従業員として働き続けたい／働きたくない理由

1	子どもとの時間をより大切にしたい	29% (8票)
2	ワークライフバランスを保つことができない (親等からのサポートに不安)	25% (7票)
3	ワークライフバランスを保つことができない (配偶者が育児・家事に消極的)	21% (6票)
4	配偶者の収入のみで安定した生活ができる	14% (4票)
5	その他	11% (3票)

# さんさん館について

## Q.さんさん館を知った／利用し始めたきっかけ

### さんさん館を利用知ったきっかけ

①	広報紙「りゅうほー」	36% (24票)
②	親・友人からの紹介・勧め	17% (11票)
③	市公式LINE	14% (9票)
④	赤ちゃん訪問 (市の保健師や助産師から)	11% (7票)
⑤	プレパパ・ママ教室	9% (6票)

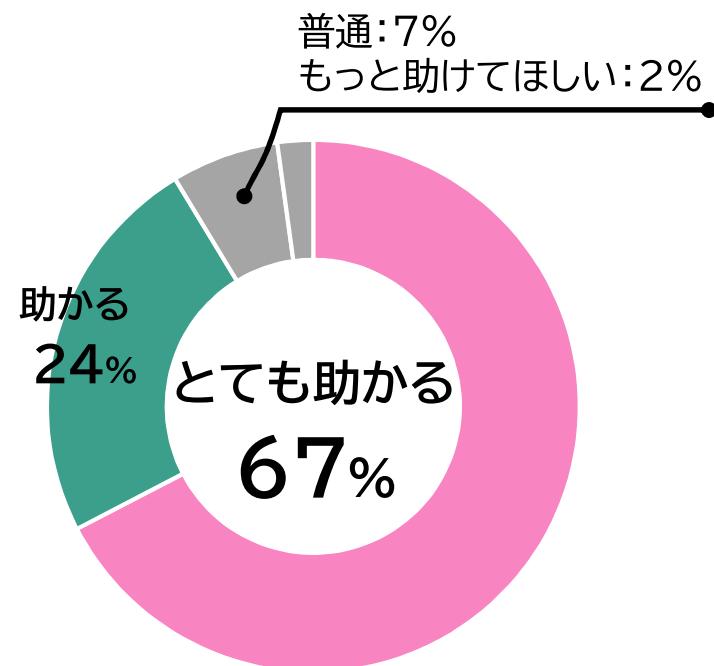
### さんさん館を利用し始めたきっかけ

①	子育て世代から情報を得られる (コミュニティがある)	26% (21票)
②	・ワンオペ育児に限界を感じた ・自身のリフレッシュのため	各20% (16票)
④	支援員に子育ての相談ができる	16% (13票)
⑤	子どもの遊び場として (広い室内、豊富なおもちゃ、発達のため)	14% (11票)

# さんさん館について

## Q.さんさん館の満足度／いい所

### さんさん館の満足度



### さんさん館のいい所

順位	いい所	割合 (票数)
1	支援員の方が親切・丁寧	24% (33票)
2	子どもが楽しく通える (イベントが多い)	22% (30票)
3	保護者同士のコミュニケーションが取れる	19% (26票)
4	相談に乗ってくれる人がいるという安心感	15% (20票)
5	育児負担が減って、気持ちが楽になった	9% (13票)

# 市政情報への接点／接触頻度

## Q.市政情報への接点／接触頻度

市政情報は何の媒体で見ているのか？

1	広報紙「りゅうほー」	40% (38票)
2	市公式LINE	39% (37票)
3	市公式ホームページ	14% (13票)
4	メール配信	3% (3票)
5	防災龍ヶ崎(アプリ)	2% (2票)

市政情報をどのくらいの頻度で見ているか？

1	週1回程度	46% (21票)
2	2週間に1回程度	30% (14票)
3	月1回程度	13% (6票)
4	毎日	9% (4票)
5	全く見ない	2% (1票)

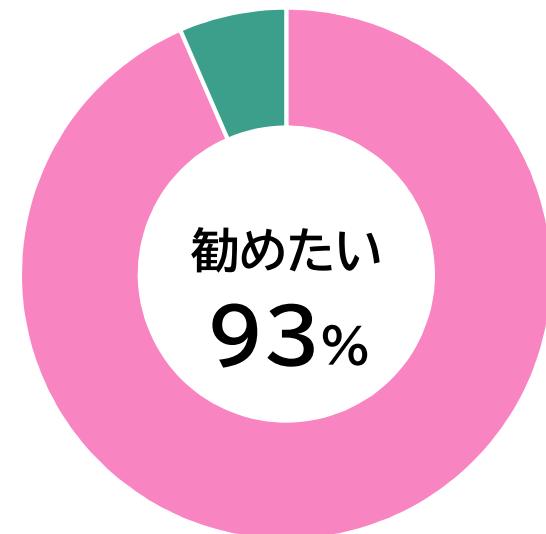
# 龍ヶ崎の魅力的な子育て施策／子育て環境の推奨意欲

## Q.龍ヶ崎の魅力的な子育て支援施策TOP5／子育て環境の推奨意欲

### 龍ヶ崎の魅力的な子育て支援施策 TOP5

1	学童保育が小学6年生まで実施 (待機児童ゼロ／学校敷地内)	17% (29票)
2	たつのこやま(まいりゅうのしつぽ)	16% (28票)
3	公園の多さ	10% (18票)
4	産後ケアに対する助成 (最大10回まで)	9% (15票)
5	英検受験料の全額助成(年2回)	8% (14票)

### ■ 子育て環境の推奨意欲



※とても勧めたい:4.35%  
勧めたい:41.30%  
少しは勧めたい:47.83%

# 自由意見(参考)

さんさん館利用者から出た、本市に求められている子育て支援や少子化対策

## 経済的支援

- 補助金・おむつ代や離乳食代の助成等  
⇒一過性の支援が欲しい
- 教育等に係る費用の助成  
⇒継続性のある支援が欲しい  
※特に保育料や義務教育終了後

## 支援体制の充実

- 子育て支援施設の拡充・増設
- 子育て支援施設の対象年齢引き上げ  
(未就学児まで等)
- 保育園の待機児童の根本的解消  
(年度途中入園や希望保育園に入園可能等)
- 親子で参加できるイベントや遊び場の充実

## 環境の整備

- 女性がキャリアを諦めずに出産・育児ができる環境の整備(職場環境の改善等)

## 気になった点

- 2人目以降を考えるとメリットがある対策が欲しいという意見有(意見者は30代前半の女性で1人目は2~3歳、2人目以降を迷っている)  
⇒子どもを産むことを何かのメリットと引き換えにする親が増えるのは適切ではない